



東証：4502

TAK
LISTED
NYSE

成長と株主還元への コミットメント

2024年度第3四半期決算発表

2025年1月30日



Better Health, Brighter Future

重要な注意事項



本注意事項において、「プレゼンテーション (presentation)」とは、本プレゼンテーションに関して武田薬品工業株式会社（以下、「**武田薬品**」）によって説明又は配布された本書類並びに一切の口頭のプレゼンテーション、質疑応答及び書面又は口頭の資料を意味します。本プレゼンテーション（それに関する口頭の説明及び質疑応答を含みます）は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申込み、交換、売却その他の処分の提案、案内若しくは勧誘又はいかなる投票若しくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明又は形成するものではなく、またこれを行うことを意図していません。本プレゼンテーションにより株式又は有価証券の募集を公に行うものではありません。米国 1933 年証券法の登録又は登録免除の要件に基づいて行うものを除き、米国において有価証券の募集は行われません。本プレゼンテーションは、「投資、取得、処分その他の取引の検討のためではなく」情報提供のみを目的として受領者により使用されるという条件の下で（受領者に対して提供される追加情報と共に）提供されております。

当該制限を遵守しなかった場合には、適用のある証券法違反となる可能性があります。

武田薬品が直接的に、又は間接的に投資している会社は別々の会社になります。本プレゼンテーションにおいて、「武田薬品」という用語は、武田薬品及びその子会社全般を参照するものとして便宜上使用されていることがあります。同様に、「当社 (we, us及びour)」という用語は、子会社全般又はそこで勤務する者を参照していることもあり得ます。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることもあり得ます。

本プレゼンテーションに記載されている製品名は、武田薬品又は各所有者の商標又は登録商標です。

将来に関する見通し情報

本プレゼンテーション及び本プレゼンテーションに関して配布された資料には、武田薬品の見積もり、予測、目標及び計画を含む武田薬品の将来の事業、将来のポジション及び業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする (targets)」、「計画する (plans)」、「信じる (believes)」、「望む (hopes)」、「継続する (continues)」、「期待する (expects)」、「めざす (aims)」、「意図する (intends)」、「確実にする (ensures)」、「だろ (will)」、「かもしれない (may)」、「すべきであろう (should)」、「であろう (would)」、「かもしれない (could)」、「予想される (anticipates)」、「見込む (estimates)」、「予想する (projects)」、「予測する (forecasts)」、「見通し (outlook)」などの用語若しくは同様の表現又はそれらの否定表現を含むことが多いですが、それに限られるものではありません。

これら将来見通し情報は、多くの重要な要因に関する前提に基づいており、実際の結果は、将来見通し情報において明示又は暗示された将来の結果とは大きく異なる可能性があります。その重要な要因には、日本及び米国の一般的な経済条件を含む武田薬品のグローバルな事業を取り巻く経済状況、競合製品の出現と開発、関連法規の変更、臨床的成功及び規制当局による判断とその時期の不確実性を含む新製品開発に内在する困難、新製品及び既存製品の商業的成功の不確実性、製造における困難又は遅延、金利及び為替の変動、市場で販売された製品又は候補製品の安全性又は有効性に関するクレーム又は懸念、新規コロナウイルス・パンデミックのような健康危機、温室効果ガス排出量の削減又はその他環境目標の達成を可能にする武田薬品の環境・サステナビリティに対する取り組みの成功、人工知能 (AI) を含むデジタル技術の統合をはじめとする、業務効率化、生産性向上又はコスト削減に向けた武田薬品の取り組み、その他の事業再編に向けた取り組みが、期待されるベネフィットに寄与する程度、武田薬品のウェブサイト (<https://www.takeda.com/jp/investors/sec-filings-and-security-reports/>) 又は www.sec.gov において閲覧可能な米国証券取引委員会に提出した Form 20-F による最新の年次報告書並びに武田薬品の他の報告書において特定されたその他の要因が含まれます。武田薬品は、法律や証券取引所の規則により要請される場合を除き、本プレゼンテーションに含まれる、又は武田薬品が提示するいかなる将来見通し情報を更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結果の指針とはならず、また、本プレゼンテーションにおける武田薬品の経営結果及び情報は武田薬品の将来の経営結果を示すものではなく、また、その予測、予想、保証又は見積もりではありません。

財務情報及び国際会計基準に準拠しない財務指標

武田薬品の財務諸表は、国際会計基準（以下、「IFRS」）に基づいて作成されております。本プレゼンテーション及び本プレゼンテーションに関して配布された資料には、Core売上収益、Core営業利益、Core当期利益、Core EPS、CER (Constant Exchange Rate: 恒常為替レート) ベースの増減、純有利子負債、EBITDA、調整後EBITDA、フリー・キャッシュ・フロー、調整後フリー・キャッシュ・フローのように、IFRSに準拠しない財務指標が含まれています。当社経営陣は業績評価並びに経営及び投資判断を、IFRS及び本報告書に含まれるIFRSに準拠しない財務指標に基づいて行っています。IFRSに準拠しない財務指標においては、最も良く対応するIFRS財務指標では含まれることとなる、又は異なる数値となる一定の利益、コスト及びキャッシュ・フロー項目を除外しております。IFRSに準拠しない財務指標は、IFRSに準拠するものではなく、付加的なものであり、また、IFRSに準拠する財務指標に代替するものではありません (IFRSに準拠する財務指標を「財務ベース」指標として参照している場合があります)。投資家の皆様におかれましては、IFRSに準拠しない財務指標につき、その定義と、これらに最も良く対応するIFRS準拠財務指標との調整表をご参照くださいますようお願い申し上げます。なお、2024年度第1四半期より、武田薬品は (i) 超インフレ国にある子会社の業績に対するCER調整方法を変更し、IAS第29号「ハイパーインフレ経済における財務報告」と整合した業績で報告するとともに、(ii) 従来のフリー・キャッシュ・フローを「調整後フリー・キャッシュ・フロー」へ名称変更しています (併せて営業活動によるキャッシュ・フローから有形固定資産の取得に係るキャッシュ・フローを控除したものを「フリー・キャッシュ・フロー」として報告しています)、(iii) 従来の純有利子負債を「調整後純有利子負債」へ名称変更しています (併せて連結財政状態計算書上の社債及び借入金の簿価から現金及び現金同等物を控除したものを「純有利子負債」として報告しています)。2023年度の業績への影響を含む、これらの変更に係る詳細および有用性の限界を含むその他の国際会計基準に準拠しない財務指標に関する重要な注意事項については、財務補足資料をご参照ください。

為替

本プレゼンテーションでは、特に断りがない限り、利用者の便宜のために、日本円で表示された一部の金額をニューヨーク連邦準備銀行が2024年12月31日に認定した正午時点の買値レートである1米ドル=157.37円で米ドルに換算しています。これらの便宜的な換算に使用された買値レート及び換算方法は、当社の連結財務諸表に使用されるIFRSの換算レート及び換算方法とは異なります。これらの便宜的な換算は、関連する日本円のコストが当該買値レート又は他のレートで米ドルに換算されうることを示すものではありません。

医療情報

本プレゼンテーションには、製品に関する情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で発売されているものではなく、また国によって異なる商標、効能、用量等で販売されている場合もあります。ここに記載されている情報は、開発品を含むいかなる医療用医薬品を勧誘、宣伝又は広告するものではありません。



成長製品・新製品の力強い勢い

- 第3四半期累計 売上収益
35,282億円 (224億米ドル)¹
+4.5% (CERベース)² 成長
- 成長製品・新製品は売上収益全体の47%を占め、
+14.6% (CERベース) 成長



利益率改善に向けた効率化を推進

- 第3四半期累計 Core営業利益率 **28.5%**³
対前年**1.6ppの増加**
- 2024年5月に公表した効率化プログラムは
想定通り進捗



後期開発段階の 革新的なパイプラインの進展

- Elriterceptのライセンス契約により
がん性貧血に対しベスト・イン・クラスとなる
可能性を有する後期開発段階のアクチビン阻害薬
がパイプラインに加わる
- 2025年中の3つの臨床第3相試験データ読み出し
に向け順調に進捗：rusfertide（真性多血症）、
oveporexton（ナルコレプシータイプ1）、
zasocitinib（乾癬）

**通期業績予想を上方修正：売上収益、Core営業利益およびCore営業利益率の成長を予想
上限1,000億円の自己株式取得を公表**

2024年度第3四半期累計：成長製品・新製品が牽引 継続したVYVANSEへの需要と営業経費の効率化も寄与



2024年度第3四半期累計（4-12月） 連結業績（サマリー）

(億円、EPSを除く)

	財務ベース		
	2024年度 第3四半期累計	2023年度 第3四半期累計	実勢レートベース 増減率 (%)
売上収益	35,282	32,129	+9.8%
営業利益	4,175	2,241	+86.3%
営業利益率	11.8%	7.0%	+4.9pp
当期利益	2,111	1,471	+43.5%
EPS	134円	94円	+42.1%
営業活動による キャッシュ・フロー	8,350	4,378	+90.8%
調整後 フリー・キャッシュ・フロー ³	5,683	363	+1,466%

CORE ¹			
2024年度 第3四半期累計	2023年度 第3四半期累計	実勢レートベース 増減率 (%)	CER ² ベース 増減率 (%)
35,282	32,129	+9.8%	+4.5%
10,063	8,656	+16.3%	+10.1%
28.5%	26.9%	+1.6pp	
6,989	6,436	+8.6%	+1.9%
443円	412円	+7.5%	+0.9%

1. Core財務指標の定義はA-1ページ、調整表はA-8、A-10ページをご参照下さい。
 2. Constant Exchange Rate：恒常為替レート。定義はA-1ページをご参照下さい。
 3. 定義はA-2ページ、調整表はA-12ページをご参照下さい。

成長製品・新製品の力強い勢い +14.6%成長（CERベース）



6つの主要なビジネスエリアでバランスの取れたポートフォリオ

 <p>消化器系疾患</p> <p>対売上収益比：29% 対前年比（CERベース）：+6%</p>	 <p>希少疾患</p> <p>対売上収益比：16% 対前年比（CERベース）：+5%</p>	 <p>血漿分画製剤 （PDT）</p> <p>対売上収益比：22% 対前年比（CERベース）：+10%</p>	 <p>オンコロジー</p> <p>対売上収益比：12% 対前年比（CERベース）：+19%</p>	 <p>ワクチン</p> <p>対売上収益比：1% 対前年比（CERベース）：+65%</p>	 <p>ニューロサイエンス （神経精神疾患）</p> <p>対売上収益比：13% 対前年比（CERベース）：△9%</p>
---	---	--	--	---	---

 <p>6,990億円 +6.6%</p>	 <p>1,680億円 +16.4%</p>	 <p>5,760億円 +11.9%</p>	 <p>361億円 +>1,000%</p>	 <p>300億円 +397%</p>	<p>成長製品・新製品</p> <p>2024年度第3四半期 累計売上収益 16,711億円 (106億米ドル¹)</p> <p>売上収益全体の 約47%</p> <p>+14.6%成長 (CERベース)</p>
 <p>39億円 N/A²</p>	 <p>245億円 +66.3%</p>	 <p>1,013億円 +2.2%</p>	 <p>275億円 +24.2%</p>		
 <p>48億円 +>1,000%</p>					

絶対値と対売上収益比は国際会計基準（IFRS）財務ベースの2024年度第3四半期累計業績、成長率は恒常為替レート（Constant Exchange Rate：CER）ベースの対前年比（定義はA-1ページをご参照下さい）。

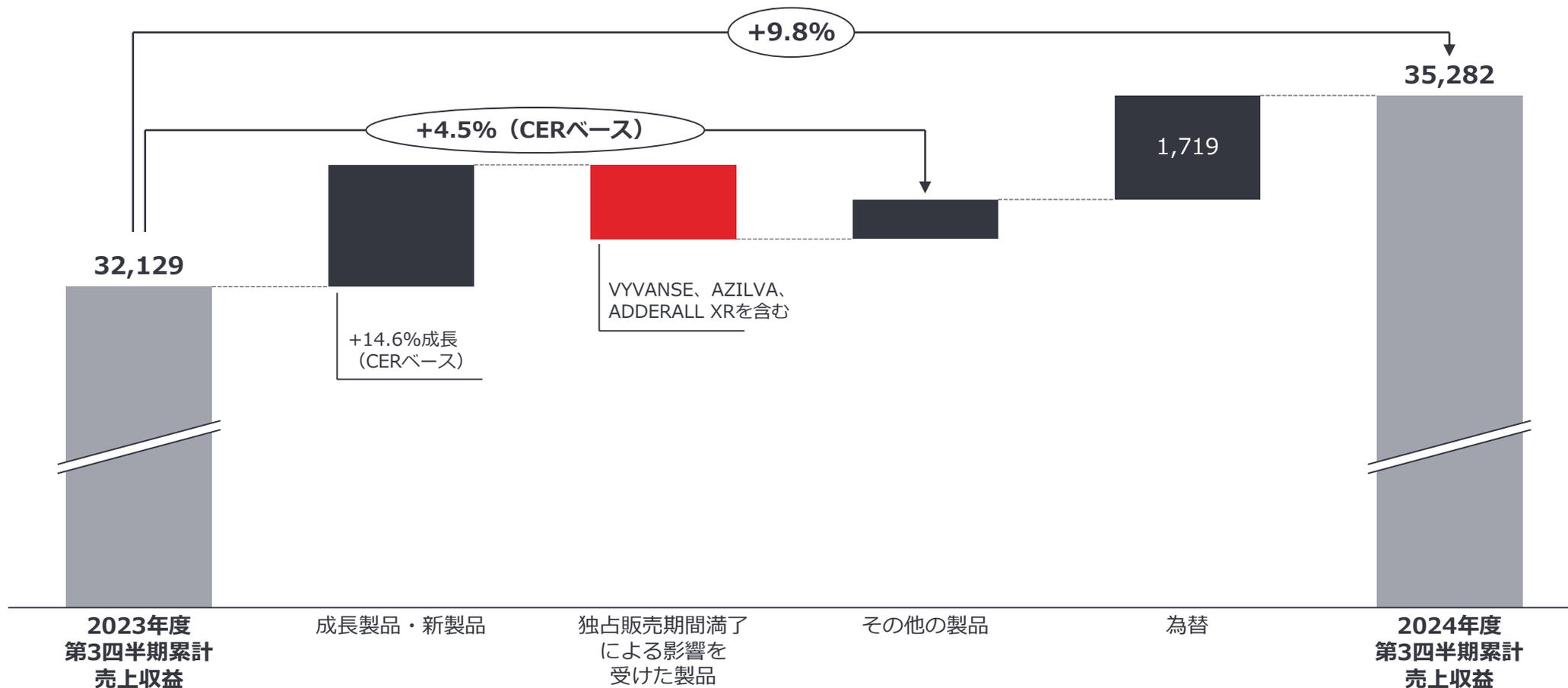
1. 為替レートに関する免責事項は2ページをご参照下さい。
2. Not Applicable：2023年度第4四半期に上市した製品。

2024年度第3四半期累計 売上収益： 成長製品・新製品の伸びが独占販売期間満了によるマイナス影響を上回る



2024年度第3四半期累計 売上収益（対前年度）

（億円）

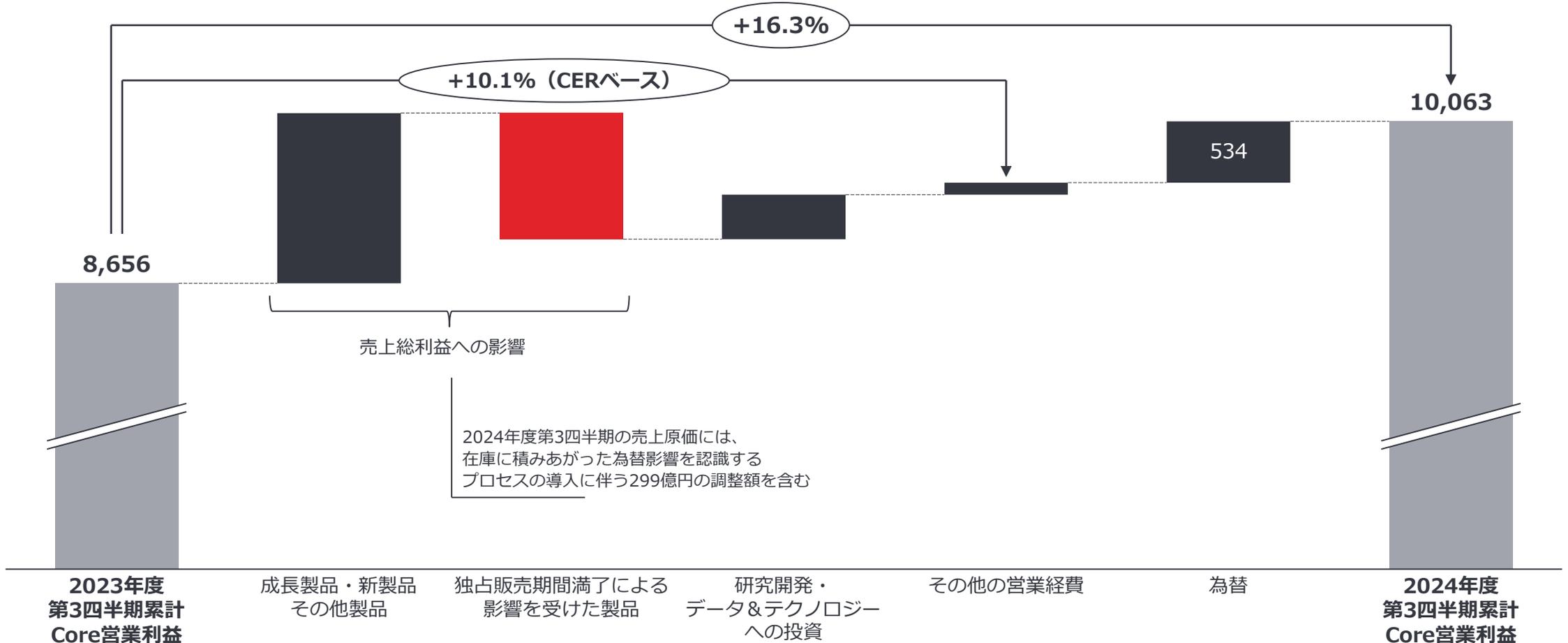


2024年度第3四半期累計 CORE営業利益：成長製品・新製品の伸びが独占販売期間満了によるマイナス影響を上回り、効率化プログラムによる営業経費の減少も寄与



2024年度第3四半期累計 CORE営業利益（対前年度）

(億円)

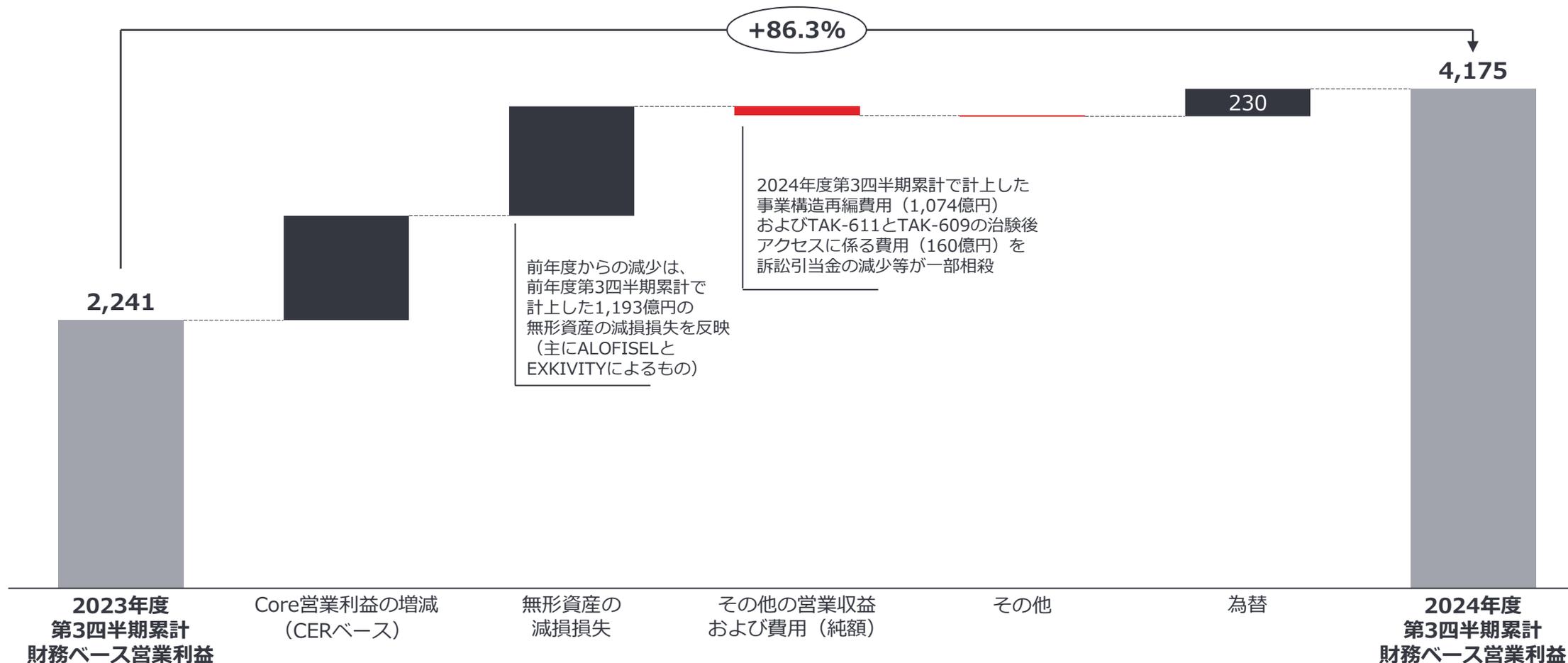


2024年度第3四半期累計 財務ベース営業利益： CORE営業利益の増加および対前年で減損損失が減少した影響を反映



2024年度第3四半期累計 財務ベース営業利益（対前年度）

(億円)



通期業績予想を上方修正：売上収益、Core営業利益およびCore営業利益率の成長を予想 上限1,000億円の自己株式取得を公表



CORE増減率（CERベース）（マネジメントガイダンス）

前回公表ガイダンス（2024年10月）

今回公表ガイダンス（2025年1月）

売上収益	横ばいからやや増加	→	一桁台前半%の増加
CORE営業利益	一桁台半ば%の減少	→	一桁台前半%の増加
CORE EPS	約10%の減少	→	横ばいからやや減少

- 製品の勢いや米国での後発品によるVYVANSEの減少が当初の想定よりも緩やかであることおよび営業経費の減少を反映

- 通期業績予想は前提為替レート of 更新も反映

米ドル：150円 → 153円

ユーロ：165円（変更なし）

- フリー・キャッシュ・フロー予想の範囲を1,500億円上方修正
上限1,000億円の自己株式取得を行うことを公表

(億円、EPSを除く)	財務ベース		CORE	
	前回予想	今回予想	前回予想	今回予想
売上収益	44,800 →	45,900	44,800 →	45,900
営業利益	2,650 →	3,440	10,500 →	11,500
EPS	43円 →	75円	456円 →	507円
調整後フリー・キャッシュ・フロー			4,000 - 5,000 →	5,500 - 6,500
1株当たり年間配当金			196円（変更なし）	

本スライドには国際会計基準に準拠しない財務指標が含まれます。定義および調整表は参考資料をご参照下さい。

2024年度の業績予想の詳細はA-18ページをご参照下さい。

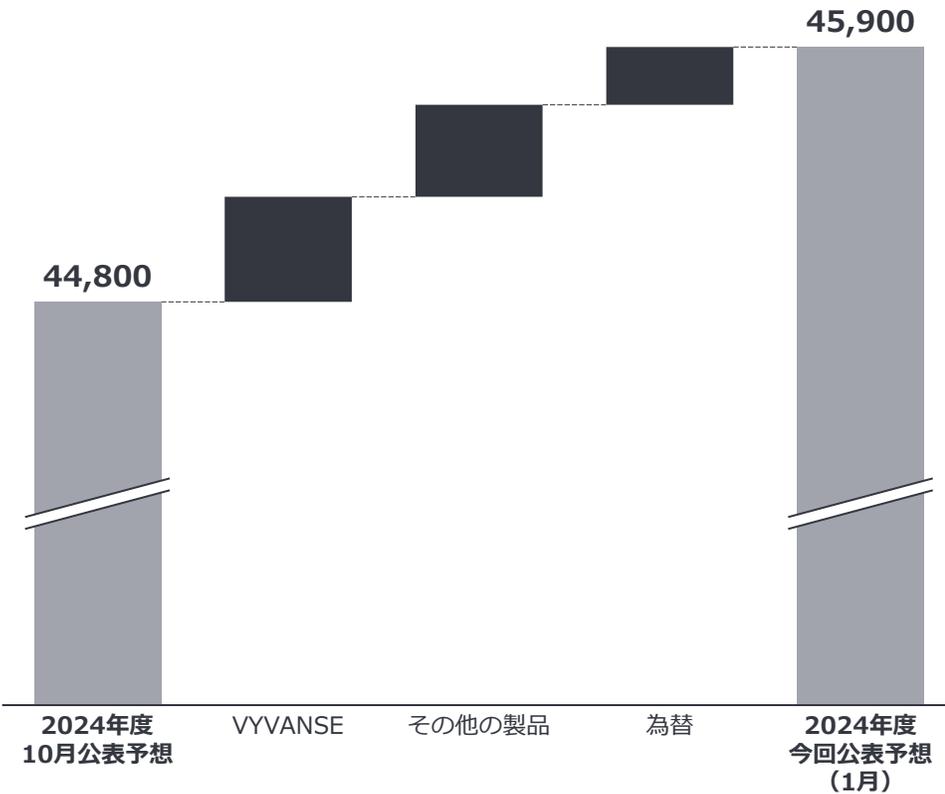
前提為替レートおよび為替感応度の詳細は、A-20ページをご参照下さい。

2024年度通期業績予想は、製品の勢いや米国での後発品によるVYVANSEの減少が想定よりも緩やかであること、および営業経費の減少により上方修正

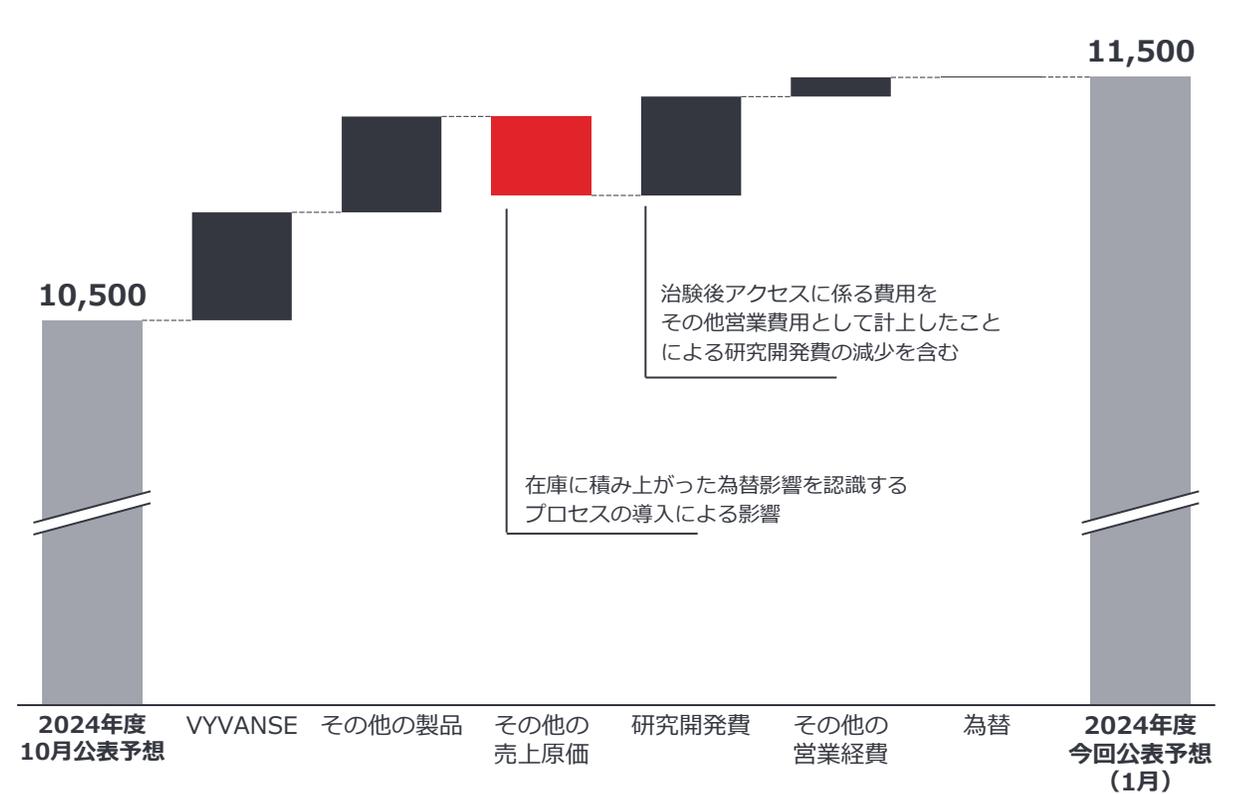


2024年度売上収益予想（対10月公表予想）

(億円)



2024年度CORE営業利益予想（対10月公表予想）



質疑応答



クリストフ・ウェバー
代表取締役社長 CEO



古田 未来乃
チーフ フィナンシャル
オフィサー



アンディー・プランプ
リサーチ&デベロップメント
プレジデント

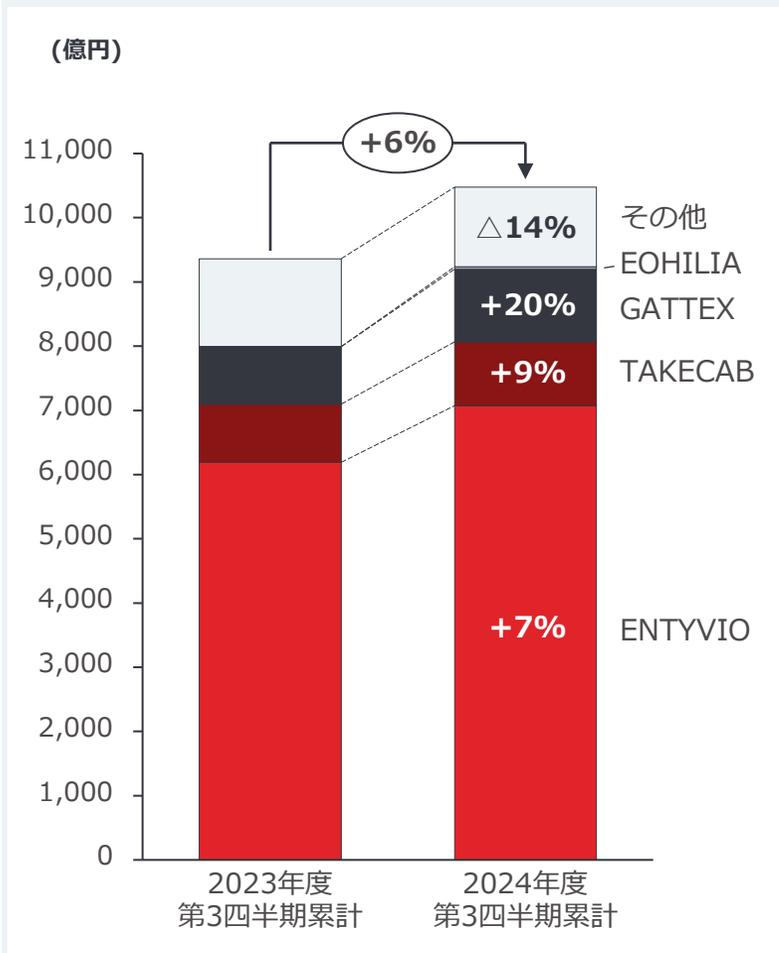
APPENDIX



ENTYVIO PenがグローバルでのENTYVIOの成長を牽引

消化器系疾患 ポートフォリオ

2024年度第3四半期累計 売上収益



2024年度第3四半期累計 売上収益 6,990億円 (+6.6%成長)

- 米国におけるENTYVIOの成長は、出荷タイミングの影響で前年度の第3四半期の実績が強かったことや、今年度の第3四半期に計上されたGross-to-Netの精算によるマイナス影響を受けた。仮にこれらマイナス影響を除いた場合、第3四半期累計のグローバルの成長率は+9.4%と想定
- 炎症性腸疾患（IBD）市場において治療選択肢が増える中でも、ENTYVIOは市場シェアトップを維持
 - ENTYVIOの過去1年間のIBD（潰瘍性大腸炎（UC）およびクローン病）市場全体におけるシェアは安定しており¹、米国におけるIBD市場で第1位を維持している
 - また、複数の新規治療薬の参入にもかかわらず、UCおよびクローン病の生物学的製剤ナイーブの患者さんへの1次治療に対する新規処方として市場シェアを維持
- 米国においてUCおよびクローン病を対象としたPen（皮下投与製剤）の上市によりIBDにおける全ての潜在市場へのアプローチを進めている
 - 優れた有効性と安全性のプロファイルに加え、投与方法の柔軟性が処方医による採用と患者さんのPen製剤に対する認知度の向上（5人中4人の患者さんが認知）²を引き続き促進
 - 第2四半期との比較で、第3四半期にENTYVIO Penの処方医が30%増加
 - 10人中9人の患者さんがENTYVIO Penによる治療体験に満足している³
- 欧州では、前年と比較して価格面でのマイナス影響が少ないことに加え、皮下投与製剤の浸透、投与患者数の堅調な増加および安定したシェアの維持により、ENTYVIOはIBDにおける先進的治療薬の市場全体の伸びを上回る成長を継続
- 症状寛解や内視鏡的治癒といった治療目標をサポートするための臨床試験や、vedolizumabをバックボーン薬剤として有効性の限界を超える併用療法の潜在的な役割を調査するための臨床試験への投資



2024年度第3四半期累計 売上収益 39億円（新製品）

- 2024年2月の上市以来、EOHILIAに対する患者さんからの需要は毎月増加し続けている
- 80%を超える医療従事者の認知率と患者さんの良好な初期治療体験により成長が支えられている米国における医療従事者と患者さんとの継続的なエンゲージメントに引き続き注力

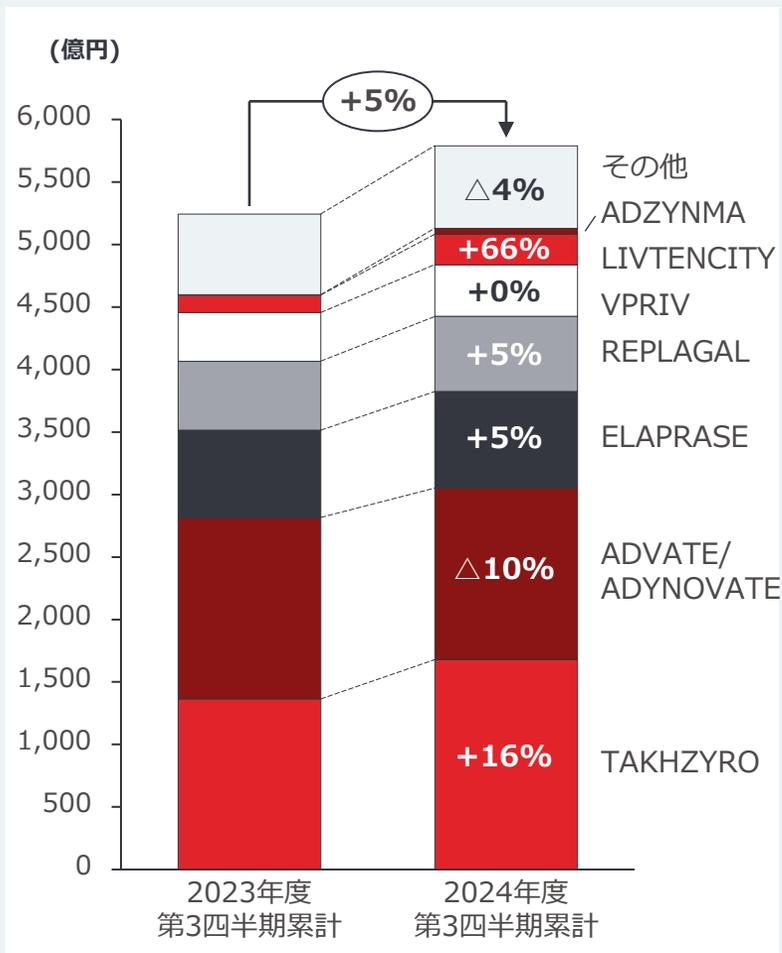


TAKHZYROは二桁台の成長が継続、6,000人以上の患者さんの治療に使用される LIVTENCITYは米国での順調な市場浸透およびグローバルでの急速な地理的拡大



希少疾患 ポートフォリオ

2024年度第3四半期累計 売上収益



2024年度第3四半期累計 売上収益 1,680億円 (+16.4%成長)

- 発売から7年が経過、TAKHZYROは長期的に遺伝性血管性浮腫（HAE）の発作を予防する現代の治療薬としてシェア第1位を継続し、6,000人以上の患者さんへ投与されている。力強い勢いは以下の要因による：
 - 実臨床で2.5年を超える投与期間に示された確固たるエビデンスとQOL改善の効果（HAEの発作を完全に予防する可能性）に支えられ、グローバルで力強い需要（55カ国以上で商業的なプレゼンスと投与患者数の堅調な増加）
 - 高い治療継続率および予防市場の成長
- TAKHZYROは、2歳以上の患者さんにおける長期的な予防を対象とした初めてかつ唯一のHAE治療薬。全世界で小児を対象とした上市を進め、米国、欧州、新興国において順調な使用拡大を確認



2024年度第3四半期累計 売上収益 245億円 (+66.3%成長)

- LIVTENCITYは、米国で力強い勢いが継続。新規投与症例の増加や新規処方医と再処方医の増加に繋がる各移植センターにおける浸透、新規投与症例の増加につながる良好な市場アクセスの傾向が牽引
- 一部の患者さんにおける治療期間の長期化や、より幅広い対象患者さんへの処方拡大の可能性により、実臨床での使用は非常に個別化されていることが明らかになっている
- 急速な地理的拡大が継続し、世界30カ国以上において使用可能。直近では日本で上市し、中国では国家医療保険償還医薬品リスト（NRDL）へ掲載



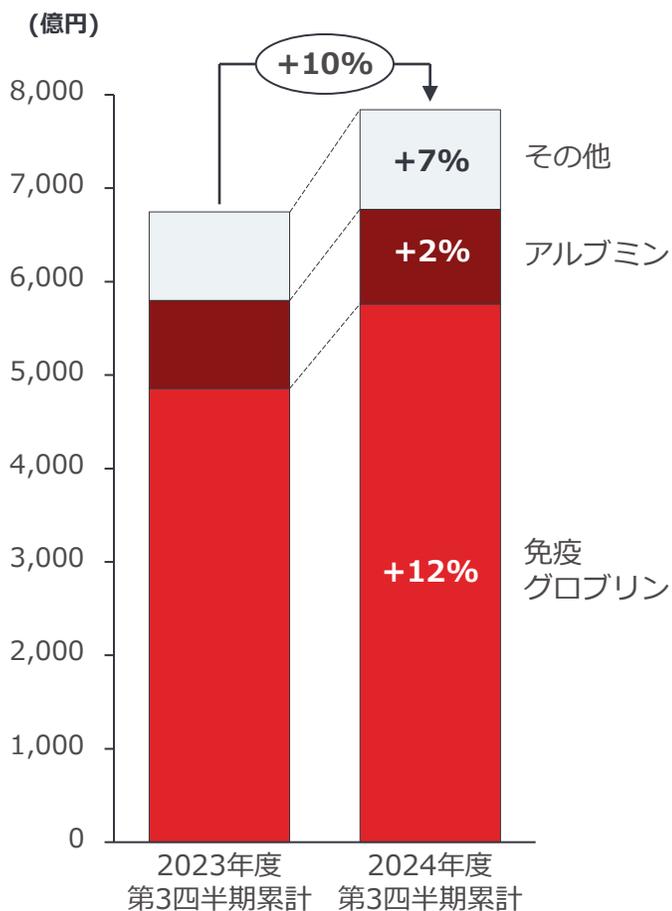
2024年度第3四半期累計 売上収益 48億円 (新製品)

- 堅実な立ち上がりの兆し：先天性血栓性血小板減少性紫斑病（cTTP）を対象に米国、日本、ドイツ、オーストリアで上市済み、ブラジルでは2024年12月に承認取得。欧州および新興国市場でのさらなる上市を予定
- 非常に高いアンメット・ニーズを有する超希少な患者さん集団に対する医療関係者の高い関心が上市後の勢いを牽引
- cTTPにおける上市後の立ち上がりは当初の想定を上回っており、従来治療法からADZYNMAへの切り替えが急速に進んでいる

血漿分画製剤ポートフォリオは免疫グロブリン製剤の売上が牽引し 引き続き卓越した成長を実現

血漿分画製剤 ポートフォリオ

2024年度第3四半期累計 売上収益



免疫グロブリン製剤

2024年度第3四半期累計 売上収益 5,760億円 (+11.9%成長)

- 米国を筆頭に世界的に強い需要が継続し、供給も安定的に増加
- 皮下投与製剤ポートフォリオが拡大し、二桁台の成長率 (%)
- 免疫グロブリン製剤ポートフォリオにおけるイノベーションと差別化へ継続的に投資

GAMMAGARD LIQUIB
[Immune Globulin
Intravenous (Human)] 10%

Kiovig
Human Normal Immunglobulin
iVig

HyQvia
Human Normal Immunglobulin (20%)
Recombinant Human Hyaluronidase

Cuvitru
[Immune Globulin Subcutaneous (Human)] 20%

アルブミン製剤

2024年度第3四半期累計 売上収益 1,013億円 (+2.2%成長)

- 中国における需要が鈍化しているものの世界的に強い需要
- 製造運営において必要なアップグレード計画への対応による減速を見込む
- 2024年度通期売上収益予想である「一桁台%の成長」(CERベース)を維持

Flexbumin
(Human Albumin)

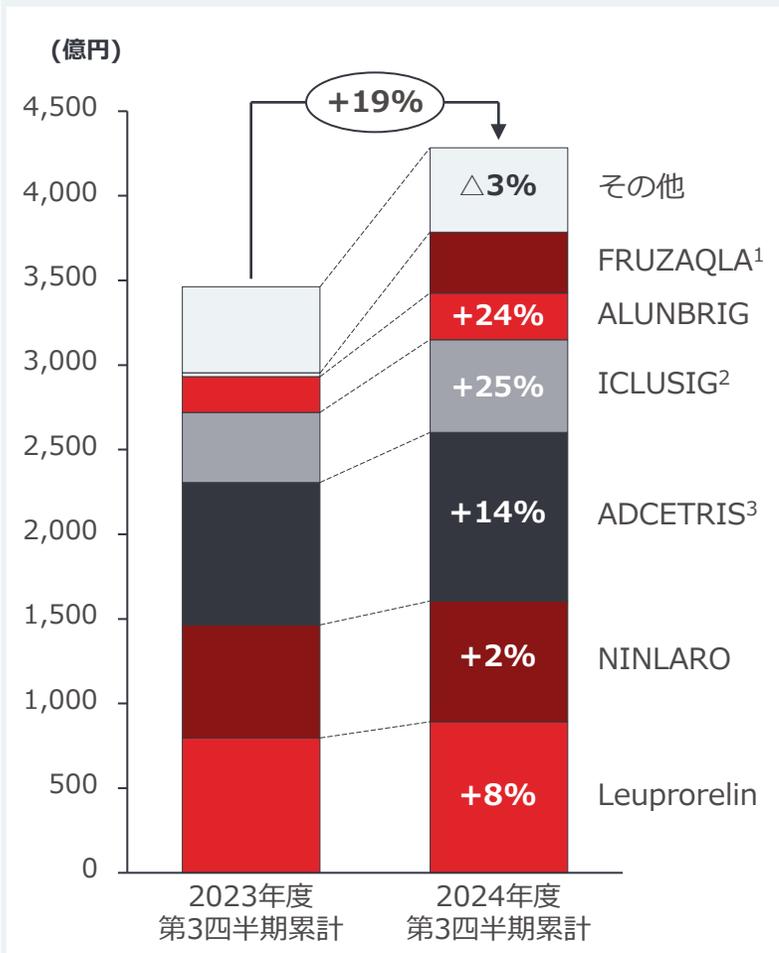
HUMANALBUMIN
SOLUTION FOR INFUSION

血漿収集と製造能力の拡大への投資を継続

- 血漿収集量は安定したペースで増加。当社の血漿収集拠点は現在270センター。2024年度中に10センター以上を新規開設する計画に対して想定通りに進捗
- データとデジタルへの大幅な投資を行い、個別化および差別化による卓越した採漿体験を提供することで、血漿成分献血者を惹きつけ、再訪を促す
- 個別化されたノモグラムの採用を開始しており、2024年度は米国BioLife約35センターへの導入を目指す。より個別化された血漿成分献血が可能になり、安全に採漿量を増加させることが示されている
- データ、デジタル、テクノロジーを駆使し、製造ネットワーク全体でターゲットを絞った投資を行い、継続的な血漿成分の収率改善や製造能力の拡大および効率化を図る

オンコロジー ポートフォリオ

2024年度第3四半期累計 売上収益



Fruzaqla[®] (fruquintinib) capsules

2024年度第3四半期累計 売上収益 361億円 (新製品)

- 米国における力強い立ち上がりが牽引し、社内の想定を上回る上市後の勢い
第3四半期には、日本において力強い上市後の立ち上がりを示し、ドイツやその他の国々でも勢いが続く
- 日本とスペインにおいて保険償還が承認
- 主な成長要因として、転移性大腸がん (mCRC) における新たな治療選択肢に対する需要、腫瘍内科医からの初期の良好な反応が挙げられる



2024年度第3四半期累計 売上収益 548億円 (+24.9%成長)

- フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病 (Ph+ALL) と新たに診断された成人患者さんを対象とした化学療法との併用に関する米国での適応拡大により成長が継続
- 慢性骨髄性白血病 (CML) における処方増加は、Ph+ ALLの1次治療への適応拡大により臨床医の使用経験が増加したことが要因と考えられる



2024年度第3四半期累計 売上収益 996億円 (+13.5%成長)

- 主な成長の原動力はホジキンリンパ腫 (HL) の1次治療における使用拡大
- NCCN (カテゴリー1)、GHS (German Hodgkin Study Group) やその他の国際的ガイドラインにおいてBrECADD治療レジメンがHL治療として追加

NCCN : National Comprehensive Cancer Network

16 絶対値は国際会計基準 (IFRS) 財務ベース
対前年比はCERベース (定義はA-1ページをご参照下さい)。

1. FRUZAQLAはHUTCHMED社より導入。当社は、全世界 (中国本土、香港およびマカオを除く) で開発、上市、製造するための独占的ライセンス権を保有。
2. 当社は、米国とオーストラリアにおけるICLUSIGの販売権を保有。米国とオーストラリア以外では、ICLUSIGは認可された5社のパートナーによって60を超える市場で販売。
3. ADCETRISはPfizer社より導入 (2023年12月、Seagen社はPfizer社により買収) ; 北米外でのグローバル共同開発・販売権を保有。



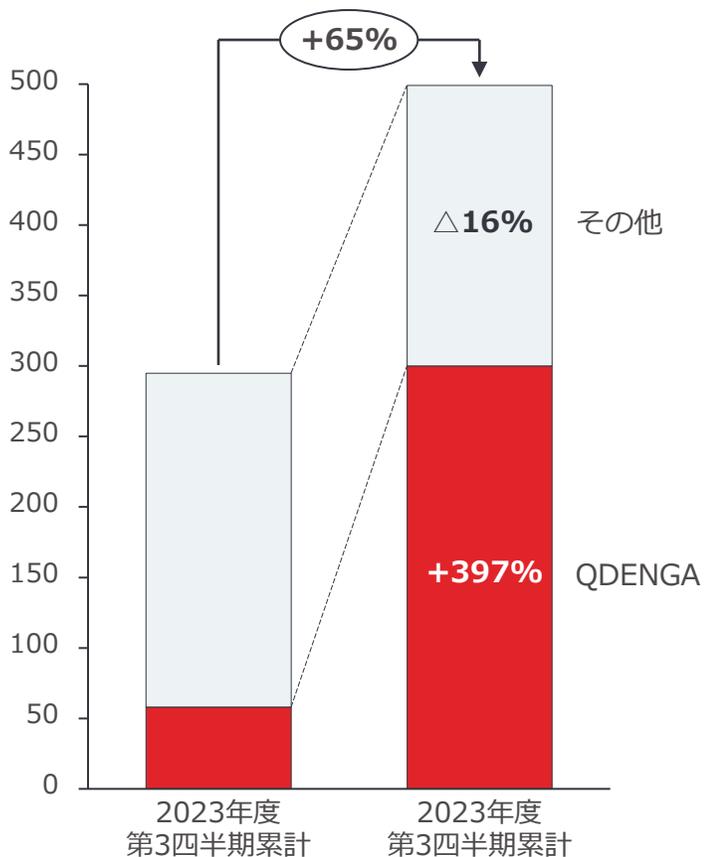
QDENGGAへの需要は想定以上：上市以来1,000万回接種分以上を販売



ワクチン ポートフォリオ

2024年度第3四半期累計 売上収益

(億円)



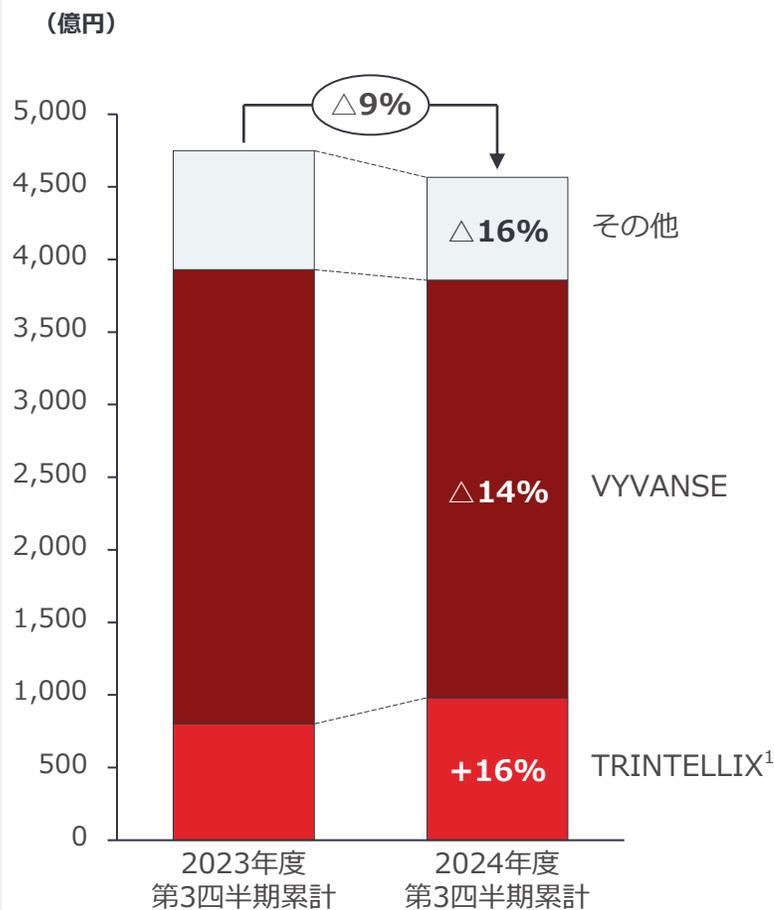
2024年度第3四半期累計 売上収益 300億円 (+397%成長)

- 世界的に強い需要：デング熱流行地域への渡航者の感染予防にQDENGGAの接種を推奨する渡航勧告が発表されている欧州19カ国を含め、現在27カ国で接種可能
- 上市済みの各国における接種対象の拡大および接種率の向上に加え、さらなる地理的拡大が今後の成長を牽引する：2024年6月にマレーシア、2024年7月にイスラエル、2024年9月にベトナムとスイスで上市
- 政府による予防接種プログラムへの組み入れに向け、各流行国政府と建設的な協議を継続
 - 2カ国で政府もしくは地域単位の予防接種プログラムを通じて接種可能：ブラジル（2023年3月承認、2023年12月より接種可能）、アルゼンチン（2023年4月承認、2024年8月より接種可能）
- 重要な国際機関によるQDENGGAへの推奨が、認知度向上とアクセス拡大を後押し
 - 世界保健機関（WHO）がQDENGGAを事前認証ワクチンリストに追加
 - 2カ国でPAHO（Pan American Health Organization）のリボルビングファンドを通じて接種可能：ホンジュラス（2024年10月）、ペルー（2024年10月）
 - Gavi（Global Alliance for Vaccines and Immunization）の理事会は最近、アクセス拡大への大きな一歩となるデング熱ワクチンプログラムへの支援を承認した
- 政府、企業、民間団体（NGO）、製造業者を含めた民間および公的機関とのパートナーシップを推進し、アクセスの拡大を図る

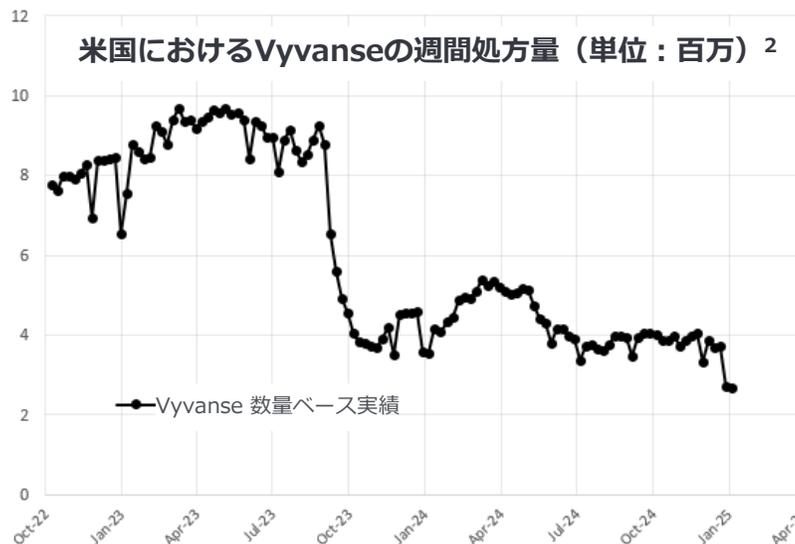
2023年8月よりVYVANSEの米国における独占販売期間満了による影響を受ける

ニューロサイエンス ポートフォリオ

2024年度第3四半期累計 売上収益



2024年度第3四半期累計 売上収益 2,876億円 (△13.5%減少)



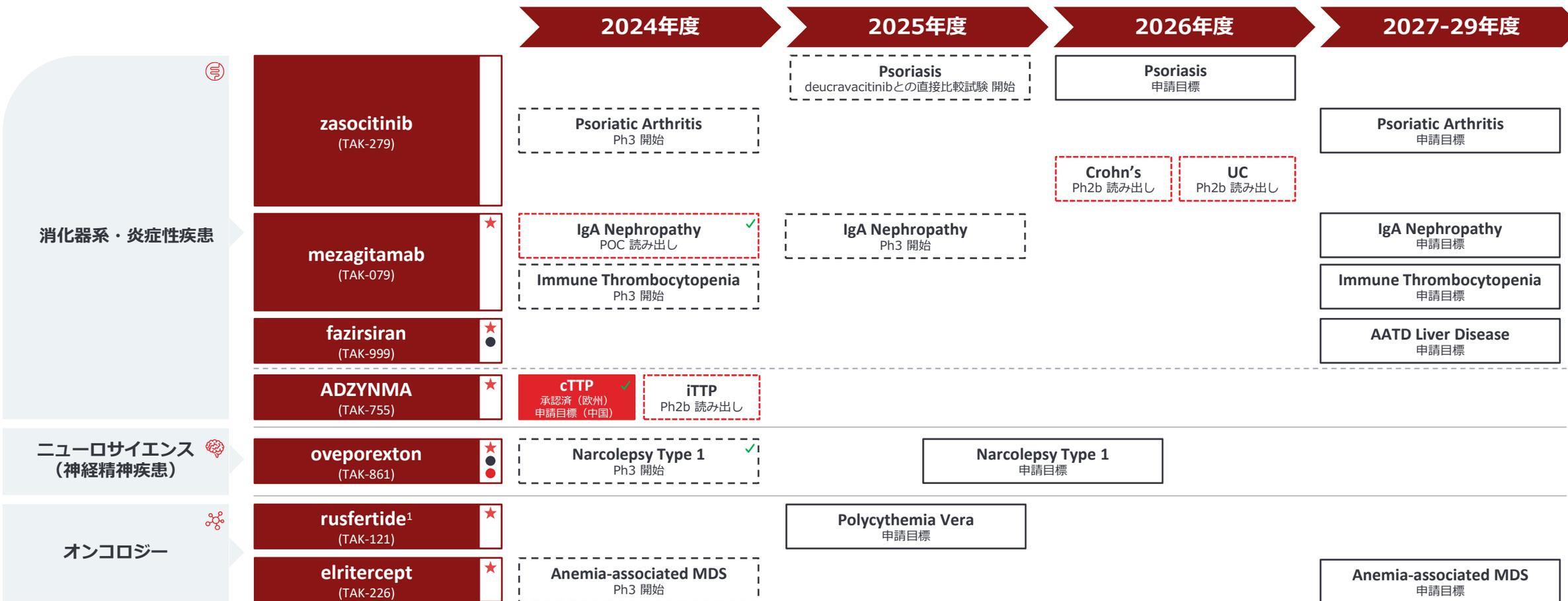
- 米国における第3四半期累計の売上収益は2023年8月の独占販売期間満了による影響を受け△19.8%減少 (CERベース)



2024年度第3四半期累計 売上収益 981億円 (+16.3%成長)

- 米国では+15.9%成長 (CERベース) : 主に保険者の構成が変化したことにより、昨年度と比較してGross-to-Netが改善 (昨年度分のメディケイドの精算や340bプログラムを通じた流通が減少)
- 日本では2024年度第3四半期累計の売上収益は+19.8%の成長となり力強い勢いが継続

希少疾患や有病率がより高い疾患に対し、革新的な治療薬の開発を推進 後期開発プログラムが大きな価値をもたらす可能性

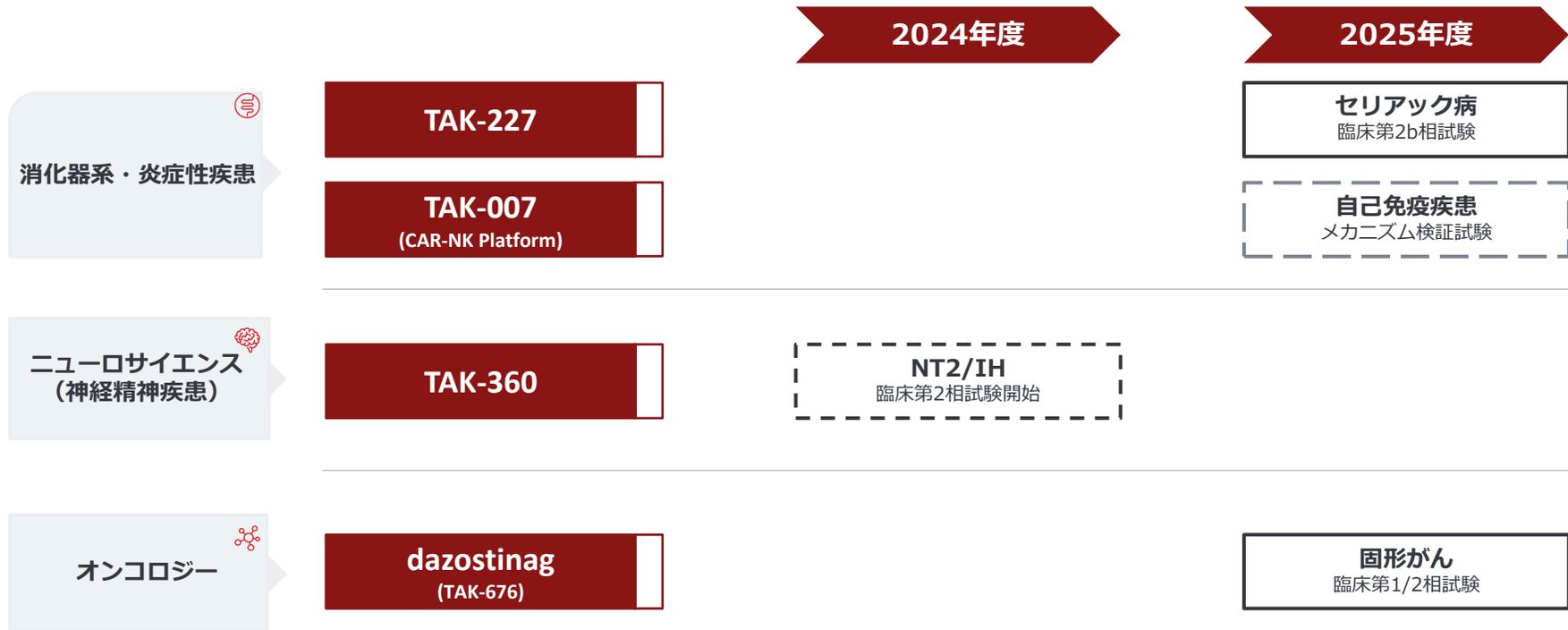


- ★ 少なくとも1つの適応症において、希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）指定
 - 少なくとも1つの適応症において、ブレイクスルーセラピー指定（米国）、PRIME指定（欧州）
 - 少なくとも1つの適応症において、先駆け審査指定（日本）、ブレイクスルーセラピー指定（中国）
- 後期開発プログラム：ピボタル試験の段階またはブルーフ・オブ・コンセプトを達成プログラム

- 承認
- 申請目標：承認申請の予想時期
- ピボタル試験開始目標/臨床第3相試験開始目標
- ブルーフ・オブ・コンセプト/用量設定臨床第2相試験データ読み出し
- マイルストーン達成

1. 2024年度第4四半期より、rusfertideはオンコロジーポートフォリオに含まれる

早期から中期開発段階のパイプラインの重要なマイルストーン サイエンスを前進させ、患者さんのアンメット・ニーズに対応することを期待



ブルー・オブ・コンセプト (POC) : POCの達成は、ピボタル試験または後期開発プログラムを開始するのに十分な臨床データが得られたことを意味する。臨床試験データの「読み出し」とは、以下のいずれかの場合を指す：
 (1) 該当する臨床データの取得、(2) 取得した臨床データに対する必要な分析およびレビューの完了、(3) (要請される場合または通常の慣例や実務慣行に基づく場合) 取得したデータについて該当する規制当局との協議
 読み出しが複数のPOC試験に関連する適応症クラス (例、固形がん) を指す場合は、以下のいずれか早い方のタイミング：
 (1) 当該適応症クラス初めてのPOC達成、または (2) 当該適応症クラスにおける全てのPOC試験の結果を取得

- ピボタル試験への進展を判断するためのブルー・オブ・コンセプト (POC)
- 臨床第2相試験開始
- 臨床でのメカニズム検証試験
- マイルストーン達成

短期間で展開される重要なライフ・サイクル・マネジメントの推進が 大きな成長機会をもたらす



	2024年度	2025年度
消化器系・炎症性疾患	maralixibat ✓ 申請済 ALGS、PFIC（日本）	ENTYVIO 申請目標 Crohn's/UC 小児（米国、欧州）
オンコロジー	ADCETRIS ✓ 申請済 FL HL BrECADD（欧州） ¹	
血漿分画製剤	HYQVIA ✓ 申請済 CIDP、MMN（日本）	
	Glovenin-I 10% 申請目標 複数の効能（日本）	
	TAK-880 ✓ 申請済 RTU IgG 低IgA（米国）	
	HyHub AVA device ✓ 申請済（米国） ²	
ワクチン	QDENG A 流行国および渡航者用ワクチン市場における申請が進行/継続中 ³	

1. German Hodgkin Study Groupが実施したHD21試験のデータに基づく申請。
 2. HyHub：使い捨ての改良型無菌バイアルアクセス医療デバイスで、促進型皮下注用免疫グロブリン製剤（fSCIG）のバイアルからの調製および投与を大幅に簡便化。
 3. QDENG Aがベトナム（2024年5月）、イスラエル（2024年5月）、スイス（2024年7月）で承認。

■ 承認
 □ 申請目標
 ✓ マイルストーン達成

2024年度：新規候補物質の承認および適応拡大の可能性



主な承認の可能性	ENTYVIO SC	クローン病	米国 承認	✓
	QDENGА	デング熱ワクチン	他の流行国 ¹	✓
	ADZYNMA	先天性血栓性血小板減少性紫斑病（cTTP）	欧州 承認	✓
	FRUZAQLA	転移性大腸がん（mCRC）	欧州 承認 日本 承認	✓ ✓
	LIVTENCITY	臓器移植（造血幹細胞移植も含む）における既存の抗サイトメガロウイルス（CMV）療法に難治性のCMV感染症	日本 承認	✓
	HYQVIA	原発性免疫不全症候群（PID） 続発性免疫不全症候群（SID）	日本 承認	✓
	maralixibat	アラジール症候群（ALGS） 進行性家族性肝内胆汁うっ滞症（PFIC）	日本 承認 日本 承認	
主な臨床第3相試験読み出し	soticlestat	ドラベ症候群	臨床第3相試験 読み出し	✗
		レノックス・ガストー症候群	臨床第3相試験 読み出し	✗

1. QDENGАがベトナム（2024年5月）、イスラエル（2024年5月）、スイス（2024年7月）で承認。

臨床試験データの「読み出し」とは、以下のいずれかの場合を指す：

- 該当する臨床データの取得、
- 取得した臨床データに対する必要な分析およびレビューの完了、
- （要請される場合または通常の慣例や実務慣行に基づく場合）取得したデータについて該当する規制当局との協議

✓ マイルストーン達成
✗ マイルストーン未達成

臨床開発パイプライン一覧表（フェーズ別）



	臨床第1相試験（新規候補物質5品目）	臨床第2相試験（新規候補物質10品目 + LCM2件）
消化器系・炎症性疾患	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> TAK-004 Nausea & Vomiting </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> TAK-007 Autoimmune Disease¹ </div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> zasocitinib Crohn's Disease </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> zasocitinib Ulcerative Colitis </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> TAK-101 Celiac Disease </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> zamaglutinase Celiac Disease </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> TAK-227 Celiac Disease </div> <div style="border: 2px dashed red; padding: 5px; text-align: center;"> ADZYNMA® iTTP </div> </div>
ニューロサイエンス （神経精神疾患）	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 60%;"> TAK-360 NT2 / IH </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> danavorexton Respiratory² </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> TAK-341 MSA </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> TAK-594 Frontotemporal dementia </div> </div>
オンコロジー	<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> TAK-012 Acute myeloid leukemia³ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> TAK-280 B7-H3 Solid Tumor³ </div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> elritercept Myelofibrosis </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> dazostinag Solid Tumors⁴ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> TAK-186 EGFR Solid Tumor⁴ </div> <div style="border: 2px dashed red; padding: 5px; text-align: center;"> mirvetuximab PROC (JP)⁴ </div> </div>
オプション契約⁵		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 40%;"> ACI-24.060⁶ Alzheimer's Disease </div>

1. TAK-007は、自己免疫疾患を対象とした臨床第1相試験を計画中。
2. Danavorextonは、呼吸器関連疾患を対象とした臨床試験を検討中。
3. 現在、臨床第1/2相試験の第1相パート。
4. 現在、臨床第1/2相試験の第2相パート。
5. オプション契約：当社が臨床開発かつまたは商業化を将来行う可能性がある契約上の権利を保有するパイプライン。
6. ACI-24.060は参考情報としてのみ掲載。特定の独占的ライセンスを獲得するためのオプション権を当社が行使（規制当局による承認を含む慣習的な条件を満たす必要がある）するまでの間、AC Immune社は本候補物質を所有し単独で臨床開発を実施。

新規候補物質

LCM

★ 希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）指定の可能性（いずれかの地域/適応症）

臨床開発パイプライン一覧表（フェーズ別）



臨床第3相試験（新規候補物質6品目 + LCM11件）

申請（新規候補物質2品目 + LCM11件）

消化器系・炎症性疾患	zasocitinib Psoriasis	zasocitinib Psoriatic Arthritis ¹	mezagitamab ITP ¹ ★	mezagitamab IgAN ¹ ★
	fazirsiran AATD Liver Disease ★	ENTYVIO® Pediatric UC/Crohn's	ADZYNMA® cTTP (CN) ★	
ニューロサイエンス （神経精神疾患）	oveporexton NT1			
オンコロジー	rusfertide ² Polycythemia Vera ★	elritercept MDS ³	mirvetuximab PSOC (JP)	
その他の希少疾患	LIVTENCITY® Pediatric Post-transplant CMV infection ★	VONVENDI® vWD Pediatric On-demand & Surgery, Prophylaxis ★	ADYNOVATE® recombinant Factor VIII Pediatric HemA (EU)	ADYNOVATE® recombinant Factor VIII HemA (CN)
血漿分画製剤	TAK-881 PID	Prothromplex DOAC Reversal (US)	Glovenin-I 5% Autoimmune Encephalitis (JP) ★	
ワクチン	QDENG A® Dengue Vaccine Booster			
オプション契約 ⁴	olverembatinib ⁵ HQP1351 CP-CML ★			

ADZYNMA® cTTP (EU) ★	maralixibat ALGS (JP) ★	maralixibat PFIC (JP) ★
FRUZAQLA™ mCRC (EU)	FRUZAQLA™ mCRC (JP)	ADCETRIS® FL HL BrECADD (EU)
LIVTENCITY® Post-transplant CMV infection (JP) ★	VONVENDI® vWD On-demand & Surgery (CN) ★	
HYQVIA® PID, SID (JP)	HYQVIA® CIDP, MMN (JP)	TAK-880 IgG – Low IgA (EU)
TAK-880 IgG – Low IgA (US)	HyHub™ AVA Device	
Nuvaxovid® COVID-19 Variant Vaccine (JP)		

1. Zasocitinibの乾癬性関節炎（PsA）とMezagitamabの免疫性血小板減少症（ITP）の臨床試験は被験者の募集開始前。MezagitamabのIgA腎症の試験を計画中。
 2. 2024年度第4四半期より、rusfertideはオンコロジーポトフォリオに含まれる。
 3. Elriterceptの骨髄異形成症候群（MDS）の試験は被験者登録中。
 4. オプション契約：当社が臨床開発かつ/または商業化を将来行う可能性がある契約上の権利を保有するパイプライン。
 5. Oolverembatinib/HQP-1351は参考情報としてのみ掲載。特定の独占的ライセンスを獲得するためのオプション権を当社が行使（規制当局による承認を含む慣習的な条件を満たす必要がある）するまでの間、Ascentage Pharma社は本候補物質を所有し単独で臨床開発を実施。

承認済

新規候補物質

LCM

★ 希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）
 指定の可能性（いずれかの地域/適応症）

Zasocitinib (TAK-279) は複数の適応症を対象に並行して開発を推進



Latitude

	臨床第2相試験 開始	臨床第2b相試験 データ読み出し	臨床第3相試験	申請目標
乾癬		臨床第2b相試験 2023年3月 ✓	臨床第3相試験 開始 2023年度 ✓ 直接比較試験 開始 2025年度	2026年度
乾癬性関節炎		臨床第2b相試験 2023年9月 ✓	臨床第3相試験 開始 2024年度	2028/29年度
クローン病	臨床第2b相試験 2024年3月 ✓	<p>Zasocitinibは高い選択性 (JAKキナーゼよりもTYK2に対して約130万倍) を有する1日1回の経口投与製剤</p> <ul style="list-style-type: none"> • TYK2、IL-23、IL-12を標的とした治療法は多くの自己免疫疾患に有効 • 遺伝的データ：TYK2の機能を喪失させることにより、乾癬、乾癬性関節炎、クローン病、潰瘍性大腸炎などのリスクが低下 • 前臨床モデルによる有用性の裏付け 		
潰瘍性大腸炎	臨床第2b相試験 2024年6月 ✓			
その他	計画中			

- 複数の自己免疫疾患に対する臨床作用が認められている有力なメカニズム：炎症性腸疾患を含む免疫関連疾患に対しても有望
- 高い選択性によりベストインクラスの可能性を有する1日1回の経口投与製剤

	臨床第3相試験	臨床第3b/4相試験	論文掲載	承認済
潰瘍性大腸炎	ENTYVIO® IV 小児適応 (グローバル)	ENTYVIO® IV (VERDICT) (グローバル) ^{3, 4} ENTYVIO® IV (EXIGEM) ENT + tof (米国、カナダ) ³	ENTYVIO® IV (VARSITY) ENT vs. ada ¹	ENTYVIO® IV (グローバル) ENTYVIO® SC (米国、欧州、日本)
クローン病	ENTYVIO® IV 小児適応 (グローバル)	ENTYVIO® IV (EXPLORER 2) ENT + ada or ENT + ust (米国、カナダ) ³ ENTYVIO® IV (VICTRIVA) ENT + upa (グローバル) ³ ENTYVIO® (VOICE) ENT or ust (米国、カナダ) ^{3, 4} ENTYVIO® IV (VECTORS) (グローバル) ^{3, 4}		ENTYVIO® IV (グローバル) ENTYVIO® SC (米国、欧州、日本)
回腸囊炎				ENTYVIO® IV (欧州)
移植片対宿主病			ENTYVIO® IV (グローバル) ² ★	

1. Sands BE et al. N Engl J Med 2019;381:1215-26.
 2. Chen YB et al., Transplantation & Cellular Therapy Meetings of ASTCT and CIBMTRにおいて発表 (2023年2月18日)
 3. 適応拡大などを目的としたデザインの臨床試験ではない
 4. 当社の協力を得て、Alimentiv社が主導する共同研究

ENT : ENTYVIO
 Tof : tofacitinib (トファシチニブ)
 Ada : adalimumab (アダリムマブ)
 Ust : ustekinumab (ウステキヌマブ)
 Upa : upadacitinib (ウパダシチニブ)

承認済
 論文掲載
 継続中の試験または申請済

★ 希少疾病用医薬品 (オーファンドラッグ) 指定の可能性

略語の用語集



地域に関する略語:

CN: 中国; EU: 欧州; JP: 日本; UK: 英国; US: 米国

AA	anemia-associated (～に伴う貧血)
AATD	α 1-antitrypsin deficiency (α 1アンチトリプシン欠乏症)
AATD LD	α 1-antitrypsin deficiency associated liver disease (α-1アンチトリプシン欠乏症による肝疾患)
ADAMTS13	a disintegrin-like and metalloproteinase with a thrombospondin type 1 motifs 13 (トロンボスポンジン1型モチーフ13を有するディスインテグリンおよびメタロプロテナーゼ)
ADC	antibody-drug conjugate (抗体薬物複合体)
ALGS	Alagille syndrome (アラジール症候群)
AVA	Advanced Vial Access
BID	bis in die (1日2回投与)
BTD	breakthrough therapy designation (画期的新薬指定)
CAR NK	chimeric antigen receptor natural killer cell (キメラ抗原受容体-ナチュラルキラー細胞)
CHMP	Committee for Medicinal Products for Human Use (欧州医薬品委員会)
CIDP	chronic inflammatory demyelinating polyradiculoneuropathy (慢性炎症性脱髄性多発根神経炎)
CML	chronic myeloid leukemia (慢性骨髄性白血病)
CMV	cytomegalovirus (サイトメガロウイルス)
CP-CML	chronic-phase chronic myeloid leukemia (慢性期の慢性骨髄性白血病)
CRC	colorectal cancer (大腸がん)
CRPC	castrate-resistant prostate cancer (去勢抵抗性前立腺がん)
cTTP	congenital thrombotic thrombocytopenic purpura (先天性血栓性血小板減少性紫斑病)
DOAC	direct oral anti-coagulation (直接経口抗凝固薬)
DS	Dravet syndrome (ドラベ症候群)
EGFR	epidermal growth factor receptor (上皮増殖因子受容体)
EMA	European Medicines Agency (欧州医薬品庁)
FDA	U.S. Food & Drug Administration (米国食品医薬品局)
FL	front line (フロントライン適応)
fSCIG	facilitated Subcutaneous Immunoglobulin (促進型皮下注用免疫グロブリン製剤)

FY	fiscal year (年度)
GI	gastrointestinal (胃腸)
H2H	head-to-head (直接比較)
HAE	hereditary angioedema
HCP	healthcare professional (医療従事者)
HemA	hemophilia A (血友病A)
HL	Hodgkin lymphoma (ホジキンリンパ腫)
IBD	inflammatory bowel disease (炎症性腸疾患)
IgA	immunoglobulin A (免疫グロブリンA)
IgAN	immunoglobulin A nephropathy (IgA腎症)
IgG	immunoglobulin G (免疫グロブリンG)
IH	idiopathic hypersomnia (特発性過眠症)
IND	investigational new drug (治験薬)
INN	international non-proprietary name (国際一般名称)
ITP	immune thrombocytopenia (免疫性血小板減少症)
iTTP	immune thrombotic thrombocytopenic purpura (免疫性血栓性血小板減少性紫斑病)
IV	intravenous (静脈投与)
JAK	Janus kinase (ヤヌスキナーゼ)
LCM	lifecycle management (ライフ・サイクル・マネジメント)
mCRC	metastatic colorectal cancer (転移性大腸がん)
MDS	myelodysplastic syndrome (骨髄異形成症候群)
MF	myelofibrosis (骨髄線維症)
MMN	multifocal motor neuropathy (多巣性運動ニューロパチー)
MSA	multiple system atrophy (多系統萎縮症)
NDA	new drug application (新薬承認申請)
NK	natural killer (ナチュラルキラー)

NME	new molecular entity (新規候補物質)
NMPA	(China's) National Medical Products Administration (中国国家薬品监督管理局)
NT1 or 2	narcolepsy type 1 (ナルコレプシータイプ1) or narcolepsy type 2 (ナルコレプシータイプ2)
PDT	plasma derived therapies (血漿分画製剤)
PFIC	progressive familial intrahepatic cholestasis (進行性家族性肝内胆汁うっ滞症)
PID	primary immunodeficiency (原発性免疫不全)
PK	pharmacokinetics (薬物動態)
PMDA	Japan's Pharmaceuticals and Medical Devices Agency (医薬品医療機器総合機構)
POC	proof of concept (概念実証)
PRIME	Priority medicines scheme by EMA
PROC	platinum-resistant ovarian cancer (プラチナ製剤抵抗性卵巣がん)
PSOC	platinum-sensitive ovarian cancer (プラチナ製剤感受性卵巣がん)
PTRS	probability of technical and regulatory success (技術的および規制上の成功確率)
PV	polycythemia vera (真性多血症)
QD	quaque die (1日1回投与)
QOL	quality of life (生活の質)
RTU	ready to use (調製済み)
SC	subcutaneous formulation (皮下投与製剤)
SID	secondary immunodeficiency (続発性免疫不全)
SOC	standard of care (標準治療)
TKI	tyrosine kinase inhibitor (チロシンキナーゼ阻害剤)
TYK2	tyrosine kinase 2 (チロシンキナーゼ2)
UC	ulcerative colitis (潰瘍性大腸炎)
vWD	von Willebrand disease (フォン・ヴィレブランド病)
WW	worldwide (全世界)

財務補足資料



国際会計基準（IFRS）に準拠しない財務指標の定義

国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明

A-1

調整表およびその他の財務情報

2024年度第3四半期累計 財務ベース業績（CERベース増減率を含む）

A-4

2024年度第3四半期（10-12月）財務ベース業績（CERベース増減率を含む）

A-5

2024年度第3四半期累計 Core業績（CERベース増減率を含む）

A-6

2024年度第3四半期（10-12月）Core業績（CERベース増減率を含む）

A-7

2024年度第3四半期累計 財務ベースからCoreへの調整表

A-8

2024年度第3四半期（10-12月）財務ベースからCoreへの調整表

A-9

2023年度第3四半期累計 財務ベースからCoreへの調整表

A-10

2023年度第3四半期（10-12月）財務ベースからCoreへの調整表

A-11

2024年度第3四半期累計 調整後フリー・キャッシュ・フロー

A-12

2024年度第3四半期累計 調整後純有利子負債/調整後EBITDA

A-13

2023年度 調整後純有利子負債/調整後EBITDA

A-14

2024年度第3四半期累計 当期利益から調整後EBITDAへの調整

A-15

2024年度第3四半期累計 当期利益から調整後EBITDA（LTM）への調整

A-16

2024年度第3四半期累計 資本的支出、減価償却費及び償却費、減損損失

A-17

2024年度業績予想（詳細）

A-18

2024年度業績予想 財務ベース営業利益からCore営業利益への調整表

A-19

2024年度前提為替レートおよび通期予想に対する為替感応度

A-20

国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明



Core財務指標

当社グループのCore売上収益、Core営業利益、Core当期利益（親会社の所有者帰属分）、Core EPSをはじめとするCore財務指標は、売却に伴う収益、製品（仕掛研究開発品を含む）に係る無形資産償却費及び減損損失、その他、非定常的な事象に基づく影響、企業結合会計影響や買収関連費用など、当社グループの中核事業の本質的な業績に関連しない事象による影響を控除しています。**Core売上収益**は、財務ベースの売上収益から、当社グループの中核事業の本質的な業績に関連しない売上収益に係る影響を控除して算出します。**Core営業利益**は、財務ベースの営業利益から、その他の営業収益及びその他の営業費用、製品（仕掛研究開発品を含む）に係る無形資産償却費及び減損損失、その他、非資金項目または当社グループの中核事業の本質的な業績に関連しない事象による影響を控除して算出します。**Core EPS**は、財務ベースの当期利益（親会社の所有者帰属分）から、Core営業利益の算出において控除された項目、および特別、非定常的な事象に基づく影響、または当社グループの中核事業の本質的な業績に関連しない事象による影響を控除して算出します。これらには、条件付対価に係る公正価値変動（時間的価値の変動を含む）影響などが含まれます。さらに、これらの調整項目に係る税金影響を控除した後、報告期間の自己株式控除後の平均発行済株式総数で除して算出します。

当社グループがCore財務指標を表示する理由は、これらの指標が、当社グループの中核事業の本質的な業績に関連しない事象による影響を控除するものであり、当社グループ事業の本質的な業績を理解していただくに当たり有用であると考えているためです。控除される項目には、(i) 前年度から著しく変動する項目、もしくは毎年度発生するものではない項目、または(ii) 当社グループの中核事業の本質的な業績の変動とはほぼ相関関係がないと認められる項目が含まれます。同様の指標は、同業他社においても頻繁に使用されていると認識しており、本指標を表示することは、投資家が当社グループの業績を過年度の業績と比較される際だけでなく、同業他社と類似の基準に基づき比較される際にも有用になると考えています。また、当社グループがCore財務指標を表示する理由は、これらの指標が予算の策定や報酬の設定（CEOおよびCFOのインセンティブ報酬を含む、当社グループの短期インセンティブ並びに長期インセンティブ報酬プログラムに係る一定の目標はCore財務指標の結果に関連して設定）に用いられているためです。

CER（Constant Exchange Rate: 恒常為替レート）ベースの増減

CERベースの増減は、当期の国際会計基準（IFRS）に準拠した業績またはCore財務指標（Non-IFRS）について、前年同期に適用した為替レートをを用いて換算することにより、前年同期との比較において為替影響を控除するものです。

当社グループがCERベースの増減を表示する理由は、変動する為替レートが当社グループの事業に与える影響を踏まえ、為替影響がなかった場合の経営成績の増減について投資家に理解していただくに当たり有用であると考えているためです。CERベースの増減は、当社グループの経営陣が経営成績を評価するに際して使用する主な指標になっています。また、製薬業界における各社が為替影響を調整した同様の業績指標を頻繁に用いているため、証券アナリスト、投資家その他の関係者が各社の経営成績を評価するに際しても、本指標が有用であると考えています。

ただし、CERベースの増減の有用性には、一例として次の限界があります。例えば、CERベースの増減は、前年度においてIFRSに準拠した業績を算定するために用いた為替レートと同一の為替レートをを用いますが、そのことは必ずしも、当年度の取引が前年度と同一の為替レートで実施され得た、あるいは計上され得たことを示すものではありません。また、類似の名称の指標を用いている同業他社が、当社グループとは異なる方法で指標を定義し、算定している可能性があるため、そのような指標との比較可能性に欠け得るものです。従って、CERベースの増減はIFRSに準拠して作成、表示された業績と切り離して考慮してはならず、また、これらの代替と捉えてはならないものです。なお、超インフレが発生し、IAS第29号「超インフレ経済下における財務報告」が適用されている子会社の業績については、前年同期の為替レートをを用いるCERベースの増減計算において超インフレの影響が増大していることから、2024年度第1四半期より、CERベースの増減調整は行わないこととし、これら子会社に係るCERベースの増減は、IAS第29号「超インフレ経済下における財務報告」に基づき報告された業績の変動と実質的に変わらないものとしています。

フリー・キャッシュ・フローおよび調整後フリー・キャッシュ・フロー

当社グループのフリー・キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローから有形固定資産の取得による支出を控除したものです。調整後フリー・キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローから、有形固定資産の取得による支出、無形資産の取得による支出、投資の取得による支出（公正価値ヒエラルキーのレベル1に区分される債券投資の取得による支出の控除後）、事業の取得による支出（取得した現金及び現金同等物の純額の控除後）およびそれらに実質的に関連または類似していると見做されるその他の支出を控除した上で、有形固定資産の売却による収入、投資の売却・償還による収入（公正価値ヒエラルキーのレベル1に区分される債券投資の売却による収入の控除後）、事業の売却による収入（処分した現金及び現金同等物の純額の控除後）を加味し、さらに、当社グループが即時的または一般的な業務用に使用できないいかなるその他の現金の支出入を調整し、算出しています。

当社グループがフリー・キャッシュ・フローおよび調整後フリー・キャッシュ・フローを表示する理由は、証券アナリスト、投資家その他の関係者が製薬業界における各社の評価を行うに際して頻繁に用いられる流動性についての同様の指標として、これらの指標が投資家にとって有用であると考えているためです。調整後フリー・キャッシュ・フローは、流動性要件を満たす能力を測り、資本配分方針をサポートする指標として流動性及びキャッシュ・フローの評価を行うに際して、当社グループの経営陣によっても使用されています。また、フリー・キャッシュ・フローおよび調整後フリー・キャッシュ・フローは、投資家が、当社グループの戦略的な買収や事業の売却がどのようにキャッシュ・フローや流動性に貢献するかを理解される上で有用であると考えています。

フリー・キャッシュ・フローおよび調整後フリー・キャッシュ・フローの有用性には、一例として次の限界があります。例えば、(i) 同業他社を含め、用いられている類似の名称の指標との比較可能性に欠け得るものです、(ii) 当社グループの、資本の使用又は配分を必要とする現在及び将来の契約上その他のコミットメントの影響は反映されていません、(iii) 投資の売却・償還による収入、事業の売却による収入（処分した現金及び現金同等物の純額の控除後）は、中核である継続的な事業からの収入を示すものではありません。フリー・キャッシュ・フローおよび調整後フリー・キャッシュ・フローは、IFRSに基づく指標である営業活動によるキャッシュ・フロー及びその他の流動性指標と切り離して考慮してはならず、また、これらの代替と捉えてはならないものです。IFRSに準拠した指標の中で、フリー・キャッシュ・フローおよび調整後フリー・キャッシュ・フローは営業活動によるキャッシュ・フローが最も類似します。なお、2024年度第1四半期より、(i) 従来フリー・キャッシュ・フローの名称を「調整後フリー・キャッシュ・フロー」に変更し、(ii) 営業活動によるキャッシュ・フローから有形固定資産の取得に係るキャッシュ・フローを控除したものを「フリー・キャッシュ・フロー」として報告しています。この変更は、フリー・キャッシュ・フローの開示における当社グループと同業他社との比較可能性を高め、また、当社グループが提示する指標の性質をより適切に説明することを目的としています。

EBITDAおよび調整後EBITDA

当社グループにおいて、**EBITDA**は、法人所得税費用、減価償却費及び償却費、並びに純支払利息控除前の連結当期利益を指します。また、**調整後EBITDA**は、減損損失、その他の営業収益及びその他の営業費用（減価償却費及び償却費を除く）、金融収益及び金融費用（純支払利息を除く）、持分法による投資損益及び企業結合会計影響や買収関連費用などの当社グループの中核事業に関連しないその他の項目を除外するように調整されたEBITDAを指します。

当社グループがEBITDA及び調整後EBITDAを表示する理由は、これらの指標が証券アナリスト、投資家その他の関係者が製薬業界における各社の評価を行う際に頻繁に用いられるものであり、有用であると考えているためです。当社グループは、調整後EBITDAを主にレバレッジをモニターするために使用しています。また、調整後EBITDAは、継続的な事業に関連しない特定の事象（変化に富み予測が困難である一方で、経営成績に重大な影響を与える可能性があり、一定期間にわたる業績を一貫性をもって評価することが困難な事象）から生じる不透明さを排除することから、投資家にとって、事業の動向を把握するに際して有用な指標であると考えています。

EBITDA及び調整後EBITDAの有用性には、一例として次の限界があります。例えば、(i) 同業他社を含め、用いられている類似の指標との比較可能性に欠け得るものです。また、(ii) 企業買収や無形資産の償却による影響などを含み、当社グループの業績、価値又は将来見通しの評価において重要とみなされる可能性のある財務情報や事象が除外されています、(iii) 将来にわたって継続的に発生する可能性のある項目又は項目の種類が除外されています、(iv) 投資家が当社グループの業績を理解する上で重要とみなす可能性のあるすべての項目が含まれていない、又は、重要とみなさないであろうすべての項目が除外されていない場合があります。EBITDAおよび調整後EBITDAは、IFRSに準拠した指標である営業利益、当期利益、その他の業績指標と切り離して考慮してはならず、また、これらの代替と捉えてはならないものです。IFRSに準拠した指標の中で、EBITDAおよび調整後EBITDAは、当期利益が最も類似します。

純有利子負債および調整後純有利子負債

当社グループは、**純有利子負債**を連結財政状態計算書上の社債及び借入金の簿価に現金及び現金同等物のみを調整したものと定義しており、当社グループの**調整後純有利子負債**は、次のとおり算出しています。まず、連結財政状態計算書に記載されている社債及び借入金の流動部分と非流動部分合計を計算します。その上で、(i) 期初に残存する外貨建て負債を直近12か月の期中平均レートを用いて換算し、報告期間中に計上した新規の外貨建て負債および償還した既存の外貨建て負債については対応するスポットレートを用いて換算し、当社グループの経営陣が当社グループのレバレッジをモニターするために使用する方法論を反映しています。また、(ii) 当社グループの劣後特約付きハイブリッド債について、その株式に似た特徴を踏まえ、S&Pグローバル・レーティング・ジャパンの格付手法に基づきエクイティクレジットを適用しています。この数字から、ワクチン運営および売上債権の売却プログラムに関して当社が第三者に代わり一時的に保有している現金を除いた現金及び現金同等物、およびその他の金融資産に計上され公正価値ヒエラルキーのレベル1に区分される債券投資を控除し、調整後純有利子負債を算出しています。

当社グループが、純有利子負債および調整後純有利子負債を表示する理由は、当社グループの経営陣が、当社グループの現金及び現金同等物控除後の負債をモニター及び分析するためにこれらの指標を使用し、また当社グループのレバレッジをモニターするために本指標を調整後EBITDAと併せて使用しており、投資家にとって有用であると考えているためです（なお、調整後純有利子負債および調整後純有利子負債/調整後EBITDA倍率は、当社グループの流動性の指標を表すものではないことにご留意ください）。また、負債についての同様の指標が、証券アナリスト、投資家その他の関係者が製薬業界における各社の評価を行うに際して頻繁に用いられるものであると考えています。特に、Shire社買収に伴い、投資家、アナリストおよび格付機関は、当社グループの（調整後純有利子負債/調整後EBITDA倍率で表される）財務レバレッジを綿密にモニターしています。格付機関が本指標を特に重視していることから、これらの情報は、当社グループの財務レバレッジだけでなく、格付機関が当社グループの信用力評価にあたって財務レバレッジの水準をどのように評価しているかについて、投資家が理解していただくにあたり有用であると考えています。そのため、後述のとおり、当社グループは、調整後純有利子負債を調整して、格付機関が一部の劣後債に適用している「エクイティクレジット」を反映しています（ただし、IFRS上、当該債務は資本として取り扱われません）。

調整後純有利子負債の有用性には、一例として次の限界があります。例えば、(i) 同業他社を含め、用いられている類似の指標との比較可能性に欠け得るものです、(ii) 当社グループの負債に係る利息の金額を反映していません、(iii) 負債の早期返済又は償還に係る制限を反映していません、(iv) 当社グループが現金同等物を現金に換金する際に、現金をある通貨から他の通貨に換金する際に、又は当社グループ内で現金を移動する際に係る手数料や費用を反映していません、(v) 有利子負債には、資金調達契約と整合性のある平均為替レートを適用・調整していますが、これは当社グループがある通貨を他の通貨に換金することができる実際の為替レートを反映していません、(vi) 当社グループの劣後債はIFRS上資本として取り扱われないものの、エクイティクレジットを反映しています。当該調整は、合理的で、投資家にとって有用な調整であると考えています。調整後純有利子負債は、IFRSに基づく指標である社債及び借入金、又はその他の負債指標と切り離して考慮してはならず、また、これらの代替と捉えてはならないものです。IFRSに準拠した指標の中で、純有利子負債は、社債及び借入金と最も類似します。なお、2024年度第1四半期より、(i) 従来の純有利子負債の名称を「調整後純有利子負債」に変更し、(ii) 連結財政状態計算書上の社債及び借入金の簿価から現金及び現金同等物を控除したものを「純有利子負債」として報告しています。この変更は、純有利子負債の開示における当社グループと同業他社との比較可能性を高め、また、当社が提示する指標の性質をより適切に説明することを目的としています。

便宜的な米ドル換算

財務補足資料における一部日本円表示の米ドルへの換算は、読者に対して便宜的に表示するためのものであり、ニューヨーク連邦準備銀行によって認証されている2024年12月31日時点の換算レート「Noon Buying Rate : 1米ドル157.37円」で換算しています。便宜的な米ドル換算に用いられている換算レートおよび方法は、要約四半期連結財務諸表の作成で用いられた国際会計基準（IFRS）に準拠した換算レートおよび方法とは異なります。また、これらの米ドル換算は、円貨額が上記もしくはそれ以外の換算レートを用いて米ドルへ転換できるということを意味するものではありません。

2024年度第3四半期累計 財務ベース業績 (CERベース増減率を含む)



(億円、EPS以外)	2023年度 第3四半期累計	2024年度 第3四半期累計	対前年同期			(百万米ドル、 EPS以外) 2024年度 第3四半期累計 便宜的な米ドル換算
			AERベース		CERベース	
			増減額	増減率	増減率	
売上収益	32,129	35,282	3,153	9.8 %	4.5 %	22,419
売上原価	△10,442	△11,981	△1,540	△14.7 %	△9.5 %	△7,614
売上総利益	21,687	23,300	1,613	7.4 %	2.0 %	14,806
対売上収益比率	67.5 %	66.0 %		△1.5 pp	△1.6 pp	66.0 %
販売費及び一般管理費	△7,686	△8,089	△403	△5.2 %	△0.3 %	△5,140
研究開発費	△5,341	△5,142	198	3.7 %	8.6 %	△3,268
製品に係る無形資産償却費	△3,877	△4,117	△240	△6.2 %	△0.2 %	△2,616
製品 ^(注1) に係る無形資産減損損失	△1,193	△285	908	76.1 %	76.6 %	△181
その他の営業収益	108	162	55	50.7 %	43.5 %	103
その他の営業費用	△1,457	△1,654	△198	△13.6 %	△8.4 %	△1,051
営業利益	2,241	4,175	1,934	86.3 %	76.0 %	2,653
対売上収益比率	7.0 %	11.8 %		4.9 pp	4.8 pp	11.8 %
金融収益	461	278	△183	△39.7 %	△40.9 %	177
金融費用	△1,727	△1,597	129	7.5 %	9.9 %	△1,015
持分法による投資損益	27	△32	△59	—	—	△20
税引前四半期利益	1,003	2,824	1,821	181.5 %	162.4 %	1,794
法人所得税費用	469	△711	△1,180	—	—	△452
四半期利益	1,472	2,112	640	43.5 %	32.0 %	1,342
非支配持分	△1	△2	△1	△48.7 %	△48.5 %	△1
四半期利益 (親会社の所有者持分)	1,471	2,111	640	43.5 %	32.0 %	1,341
基本的 EPS (円または米ドル)	94.10	133.71	39.61	42.1 %	30.7 %	0.85

(注1) 仕掛研究開発品を含みます。

前年同期に対する、国際会計基準に準拠した実勢レート (Actual Exchange Rate) ベースの増減額および増減率は「AER」の表記で示し、国際会計基準に準拠しない恒常為替レート (Constant Exchange Rate) ベースの増減率は「CER」の表記で示しています。「CERベースの増減」の定義については、「国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください。

対前年同期の増減率 (%) は、利益に対してプラスであれば正で、利益に対してマイナスであれば負で表示しています。

2024年度第3四半期（10-12月）財務ベース業績（CERベース増減率を含む）



(億円、EPS以外)	2023年度 第3四半期 (10-12月)	2024年度 第3四半期 (10-12月)	対前年同期			(百万米ドル、 EPS以外) 2024年度 第3四半期(10-12月) 便宜的な米ドル換算
			AERベース		CERベース	
			増減額	増減率	増減率	
売上収益	11,112	11,441	329	3.0 %	3.4 %	7,270
売上原価	△3,795	△4,169	△374	△9.9 %	△10.2 %	△2,649
売上総利益	7,317	7,273	△45	△0.6 %	△0.2 %	4,621
対売上収益比率	65.8 %	63.6 %		△2.3 pp	△2.3 pp	63.6 %
販売費及び一般管理費	△2,675	△2,706	△31	△1.1 %	△1.6 %	△1,719
研究開発費	△1,874	△1,702	172	9.2 %	9.0 %	△1,081
製品に係る無形資産償却費	△1,338	△1,342	△4	△0.3 %	△0.6 %	△853
製品 ^(注1) に係る無形資産減損損失	△36	△7	28	79.0 %	79.2 %	△5
その他の営業収益	9	24	15	163.3 %	167.6 %	15
その他の営業費用	△354	△870	△515	△145.4 %	△144.3 %	△553
営業利益	1,049	669	△380	△36.2 %	△34.3 %	425
対売上収益比率	9.4 %	5.9 %		△3.6 pp	△3.4 pp	5.9 %
金融収益	225	252	27	11.8 %	10.8 %	160
金融費用	△673	△638	35	5.3 %	6.4 %	△405
持分法による投資損益	11	△20	△31	—	—	△12
税引前四半期利益	613	264	△349	△56.9 %	△52.9 %	168
法人所得税費用	445	△26	△471	—	—	△16
四半期利益	1,058	238	△819	△77.5 %	△75.4 %	151
非支配持分	△0	△0	△0	△28.6 %	△28.5 %	△0
四半期利益（親会社の所有者持分）	1,057	238	△819	△77.5 %	△75.5 %	151
基本的 EPS（円または米ドル）	67.38	15.01	△52.38	△77.7 %	△75.7 %	0.10

(注1) 仕掛研究開発品を含みます。

前年同期に対する、国際会計基準に準拠した実勢レート（Actual Exchange Rate）ベースの増減額および増減率は「AER」の表記で示し、国際会計基準に準拠しない恒常為替レート（Constant Exchange Rate）ベースの増減率は「CER」の表記で示しています。「CERベースの増減」の定義については、「国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください。

対前年同期の増減率（%）は、利益に対してプラスであれば正で、利益に対してマイナスであれば負で表示しています。

2024年度第3四半期累計 Core業績 (CERベース増減率を含む)



(億円、EPS以外)	2023年度 第3四半期累計	2024年度 第3四半期累計	対前年同期			(百万米ドル、 EPS以外) 2024年度 第3四半期累計 便宜的な米ドル換算
			AERベース		CERベース	
			増減額	増減率	増減率	
売上収益	32,129	35,282	3,153	9.8 %	4.5 %	22,419
売上原価	△10,442	△11,983	△1,541	△14.8 %	△9.6 %	△7,615
売上総利益	21,687	23,298	1,611	7.4 %	2.0 %	14,805
対売上収益比率	67.5 %	66.0 %		△1.5 pp	△1.6 pp	66.0 %
販売費及び一般管理費	△7,691	△8,092	△402	△5.2 %	△0.2 %	△5,142
研究開発費	△5,341	△5,143	197	3.7 %	8.5 %	△3,268
営業利益	8,656	10,063	1,407	16.3 %	10.1 %	6,394
対売上収益比率	26.9 %	28.5 %		1.6 pp	1.5 pp	28.5 %
金融収益	456	214	△242	△53.0 %	△54.0 %	136
金融費用	△1,529	△1,276	253	16.5 %	19.1 %	△811
持分法による投資損益	44	15	△28	△65.2 %	△66.7 %	10
税引前四半期利益	7,626	9,016	1,390	18.2 %	11.7 %	5,729
法人所得税費用	△1,189	△2,026	△836	△70.3 %	△64.5 %	△1,287
四半期利益	6,437	6,991	554	8.6 %	1.9 %	4,442
非支配持分	△1	△2	△1	△48.7 %	△48.5 %	△1
四半期利益 (親会社の所有者持分)	6,436	6,989	553	8.6 %	1.9 %	4,441
基本的EPS (円または米ドル)	412	443	31	7.5 %	0.9 %	2.81

前年同期に対する、国際会計基準に準拠した実勢レート (Actual Exchange Rate) ベースの増減額および増減率は「AER」の表記で示し、国際会計基準に準拠しない恒常為替レート (Constant Exchange Rate) ベースの増減率は「CER」の表記で示しています。「CERベースの増減」の定義については、「国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください。

対前年同期の増減率 (%) は、利益に対してプラスであれば正で、利益に対してマイナスであれば負で表示しています。

2024年度第3四半期（10-12月） Core業績 （CERベース増減率を含む）



(億円、EPS以外)	2023年度 第3四半期 (10-12月)	2024年度 第3四半期 (10-12月)	対前年同期			(百万米ドル、 EPS以外) 2024年度 第3四半期(10-12月) 便宜的な米ドル換算
			AERベース		CERベース	
			増減額	増減率	増減率	
売上収益	11,112	11,441	329	3.0 %	3.4 %	7,270
売上原価	△3,794	△4,169	△375	△9.9 %	△10.2 %	△2,649
売上総利益	7,318	7,272	△46	△0.6 %	△0.2 %	4,621
対売上収益比率	65.9 %	63.6 %		△2.3 pp	△2.3 pp	63.6 %
販売費及び一般管理費	△2,676	△2,707	△30	△1.1 %	△1.5 %	△1,720
研究開発費	△1,874	△1,702	171	9.2 %	9.0 %	△1,082
営業利益	2,768	2,864	96	3.5 %	4.1 %	1,820
対売上収益比率	24.9 %	25.0 %		0.1 pp	0.2 pp	25.0 %
金融収益	216	238	21	9.9 %	12.3 %	151
金融費用	△651	△566	85	13.0 %	13.0 %	△360
持分法による投資損益	21	△1	△22	—	—	△1
税引前四半期利益	2,354	2,534	180	7.6 %	8.6 %	1,610
法人所得税費用	5	△435	△440	—	—	△276
四半期利益	2,359	2,099	△260	△11.0 %	△10.2 %	1,334
非支配持分	△0	△0	△0	△28.6 %	△28.5 %	△0
四半期利益（親会社の所有者持分）	2,359	2,098	△261	△11.0 %	△10.2 %	1,333
基本的EPS（円または米ドル）	150	132	△18	△12.0 %	△11.1 %	0.84

前年同期に対する、国際会計基準に準拠した実勢レート（Actual Exchange Rate）ベースの増減額および増減率は「AER」の表記で示し、国際会計基準に準拠しない恒常為替レート（Constant Exchange Rate）ベースの増減率は「CER」の表記で示しています。「CERベースの増減」の定義については、「国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください。

対前年同期の増減率（%）は、利益に対してプラスであれば正で、利益に対してマイナスであれば負で表示しています。

2024年度第3四半期累計 財務ベースからCoreへの調整表



(億円、EPSおよび株式数以外)	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整					CORE
		無形資産に係る償却費	無形資産に係る減損損失	テバ社との合併会社に係る調整影響 ^(注2)	その他の営業収益／費用	その他	
売上収益	35,282						35,282
売上原価	△11,981					△2	△11,983
売上総利益	23,300					△2	23,298
販売費及び一般管理費	△8,089					△3	△8,092
研究開発費	△5,142					△1	△5,143
製品に係る無形資産償却費	△4,117	4,117					—
製品 ^(注1) に係る無形資産減損損失	△285		285				—
その他の営業収益	162				△162		—
その他の営業費用	△1,654				1,654		—
営業利益	4,175	4,117	285		1,492	△6	10,063
対売上収益比率	11.8%						28.5%
金融収益及び費用（純額）	△1,319			194		64	△1,062
持分法による投資損益	△32					47	15
税引前四半期利益	2,824	4,117	285	194	1,492	105	9,016
法人所得税費用	△711	△862	△82	△59	△365	53	△2,026
非支配持分	△2						△2
四半期利益（親会社の所有者持分）	2,111	3,255	203	134	1,127	159	6,989
基本的EPS（円）	134						443
株式数（百万）	1,579						1,579

(注1) 仕掛研究開発品を含みます。

(注2) 武田テバファーマ株式会社株式を売却目的で保有する資産に分類したことに関連して、2024年度第3四半期累計に計上した194億円の減損損失です。

2024年度第3四半期（10-12月）財務ベースからCoreへの調整表



(億円、EPSおよび株式数以外)	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整					CORE
		無形資産に係る償却費	無形資産に係る減損損失	テバ社との合併会社に係る調整影響 ^(注2)	その他の営業収益／費用	その他	
売上収益	11,441						11,441
売上原価	△4,169					△0	△4,169
売上総利益	7,273					△0	7,272
販売費及び一般管理費	△2,706					△1	△2,707
研究開発費	△1,702					△0	△1,702
製品に係る無形資産償却費	△1,342	1,342					—
製品 ^(注1) に係る無形資産減損損失	△7		7				—
その他の営業収益	24				△24		—
その他の営業費用	△870				870		—
営業利益	669	1,342	7		846	△1	2,864
対売上収益比率	5.9%						25.0%
金融収益及び費用（純額）	△386			10		47	△329
持分法による投資損益	△20					18	△1
税引前四半期利益	264	1,342	7	10	846	64	2,534
法人所得税費用	△26	△281	△2	△3	△218	95	△435
非支配持分	△0						△0
四半期利益（親会社の所有者持分）	238	1,061	5	7	628	159	2,098
基本的EPS（円）	15						132
株式数（百万）	1,585						1,585

(注1) 仕掛研究開発品を含みます。

(注2) 武田テバファーマ株式会社株式を売却目的で保有する資産に分類したことに関連して、2024年度第3四半期に計上した10億円の減損損失です。

2023年度第3四半期累計 財務ベースからCoreへの調整表



(億円、EPSおよび株式数以外)	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整				CORE
		無形資産に係る償却費	無形資産に係る減損損失	その他の営業収益／費用	その他	
売上収益	32,129					32,129
売上原価	△10,442				△1	△10,442
売上総利益	21,687				△1	21,687
販売費及び一般管理費	△7,686				△5	△7,691
研究開発費	△5,341				0	△5,341
製品に係る無形資産償却費	△3,877	3,877				—
製品 ^(注1) に係る無形資産減損損失	△1,193		1,193			—
その他の営業収益	108			△108		—
その他の営業費用	△1,457			1,457		—
営業利益	2,241	3,877	1,193	1,349	△5	8,656
対売上収益比率	7.0%					26.9%
金融収益及び費用(純額)	△1,266				193	△1,073
持分法による投資損益	27				16	44
税引前四半期利益	1,003	3,877	1,193	1,349	204	7,626
法人所得税費用	469	△825	△264	△318	△251	△1,189
非支配持分	△1					△1
四半期利益(親会社の所有者持分)	1,471	3,052	929	1,031	△47	6,436
基本的EPS(円)	94					412
株式数(百万)	1,563					1,563

(注1) 仕掛研究開発品を含みます。

2023年度第3四半期（10-12月）財務ベースからCoreへの調整表



(億円、EPSおよび株式数以外)	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整				CORE
		無形資産に係る償却費	無形資産に係る減損損失	その他の営業収益／費用	その他	
売上収益	11,112					11,112
売上原価	△3,795				1	△3,794
売上総利益	7,317				1	7,318
販売費及び一般管理費	△2,675				△1	△2,676
研究開発費	△1,874				0	△1,874
製品に係る無形資産償却費	△1,338	1,338				—
製品 ^(注1) に係る無形資産減損損失	△36		36			—
その他の営業収益	9			△9		—
その他の営業費用	△354			354		—
営業利益	1,049	1,338	36	346	△0	2,768
対売上収益比率	9.4%					24.9%
金融収益及び費用（純額）	△448				13	△435
持分法による投資損益	11				9	21
税引前四半期利益	613	1,338	36	346	22	2,354
法人所得税費用	445	△284	△8	△153	5	5
非支配持分	△0					△0
四半期利益（親会社の所有者持分）	1,057	1,053	28	193	28	2,359
基本的EPS（円）	67					150
株式数（百万）	1,569					1,569

(注1) 仕掛研究開発品を含みます。

2024年度第3四半期累計 調整後フリー・キャッシュ・フロー



(億円)	2023年度 第3四半期累計	2024年度 第3四半期累計	対前年同期		(百万米ドル) 2024年度 第3四半期累計 便宜的な米ドル表示
当期利益	1,472	2,112	640	43.5%	1,342
減価償却費、償却費及び減損損失	6,755	6,099	△657		3,875
運転資本増減 (△は増加)	△1,667	△925	742		△588
法人所得税等の支払額	△1,793	△1,203	589		△765
法人所得税等の還付及び還付加算金の受取額	130	182	52		116
その他	△520	2,086	2,605		1,325
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,378	8,350	3,973	90.8%	5,306
有形固定資産の取得による支出	△1,309	△1,520	△211		△966
フリー・キャッシュ・フロー ^(注1)	3,069	6,830	3,761	122.6%	4,340
当社が第三者に代わり一時的に保有するキャッシュの調整 ^(注2)	96	△9	△105		△6
有形固定資産の売却による収入	86	0	△86		0
無形資産の取得による支出 ^(注3)	△2,855	△1,031	1,824		△655
ライセンスを獲得するためのオプションの取得による支出	—	△318	△318		△202
投資の取得による支出 ^(注4)	△47	△152	△105		△97
投資の売却、償還による収入	11	267	256		170
事業売却による収入 (処分した現金及び現金同等物控除後)	4	96	92		61
調整後フリー・キャッシュ・フロー ^(注1)	363	5,683	5,320	1,466.3%	3,611

(注1) フリー・キャッシュ・フローおよび調整後フリー・キャッシュ・フローの定義ならびに2024年度からの名称変更については、「国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください。

(注2) 一時的なキャッシュの調整は、当社が即時的または一般的な業務用には使用できない、ワクチン運営および売上債権の売却プログラムに関係して当社が第三者に代わり一時的に保有する現金の変動を指します。

(注3) 一部の重要性が低い取引を除き、無形資産の売却による収入は営業活動によるキャッシュ・フローに計上されているため、これらは別途調整されております。

(注4) 2024年度第3四半期累計において、公正価値ヒエラルキーのレベル1に区分される債券投資の取得による支出801億円を控除しております。

2024年度第3四半期累計 調整後純有利子負債/調整後EBITDA



調整後純有利子負債/調整後EBITDA倍率

(億円)	2024年度 第3四半期累計
連結財政状態計算書上の社債及び借入金の簿価	△48,401
現金及び現金同等物	4,941
純有利子負債 ^(注1)	△43,460
エクイティクレジットの適用 ^(注2)	2,500
為替調整 ^(注3)	948
当社が第三者に代わり一時的に保有する現金 ^(注4)	△1,087
レベル1負債性金融商品 ^(注4)	835
調整後純有利子負債 ^(注1)	△40,264
調整後EBITDA (LTM) ^(注5)	14,710
調整後純有利子負債/調整後EBITDA倍率	2.7 x
連結財政状態計算書上の社債及び借入金の簿価	△48,401
エクイティクレジットの適用 ^(注2)	2,500
為替調整 ^(注3)	948
調整後有利子負債	△44,953

現金及び現金同等物の純増減

(億円)	2023年度 第3四半期累計	2024年度 第3四半期累計	対前年同期	
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,378	8,350	3,973	90.8%
有形固定資産の取得による支出	△1,309	△1,520		
有形固定資産の売却による収入	86	0		
無形資産の取得による支出	△2,855	△1,031		
ライセンスを獲得するためのオプションの取得による支出	—	△318		
投資の取得による支出	△47	△954		
投資の売却、償還による収入	11	267		
事業売却による収入(処分した現金及び現金同等物控除後)	4	96		
純投資ヘッジとして指定された先物為替予約の決済による支出	—	△139		
短期借入金及びコマーシャルペーパーの純増減額	2,800	△3,170		
長期借入れによる収入	1,000	900		
長期借入金の返済による支出	△1,003	△502		
社債の発行による収入	—	9,345		
社債の償還による支出	△2,205	△7,338		
社債及び借入金に係る金利通貨スワップの決済による収入	601	469		
自己株式の取得による支出	△23	△19		
利息の支払額	△787	△781		
配当金の支払額	△2,781	△2,928		
その他	△477	△346		
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,608	380	2,988	—

(注1) 純有利子負債および調整後純有利子負債の定義ならびに2024年度からの名称変更については、「国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください。

(注2) ハイブリッド(劣後)社債及びローンの元本総額5,000億円分について、S&Pグローバル・レーティング・ジャパン(格付機関)より認定された50%のエクイティクレジットを適用し、2,500億円を負債から控除しております。これらの金融負債は、レバレッジ評価において一定のエクイティクレジットが認められております。

(注3) 期中平均レートで換算される調整後EBITDA計算と整合させるため、期初から期中残存する外貨建て負債を期中平均レートを用いて換算しております。報告期間中に計上した新規の外貨建て負債および償還した既存の外貨建て負債については当該日の対応するスポットレートを用いて換算しております。

(注4) ワクチン運営および売上債権の売却プログラムに関して当社が第三者に代わり一時的に保有する、即時的または一般的な業務用には使用できない現金、およびその他の金融資産に計上され公正価値ヒエラルキーのレベル1に区分される債券投資を調整しております。

(注5) 2024年12月までの過去12ヶ月(LTM: Last Twelve Months)を示しており、2023年度通期から2023年度第3四半期累計を控除し、2024年度第3四半期累計を加算して算出しております。

2023年度 調整後純有利子負債/調整後EBITDA



調整後純有利子負債/調整後EBITDA倍率

(億円)	2023年度
連結財政状態計算書上の社債及び借入金の簿価	△48,438
現金及び現金同等物	4,578
純有利子負債 ^(注1)	△43,860
エクイティクレジットの適用 ^(注2)	2,500
為替調整 ^(注3)	1,525
当社が第三者に代わり一時的に保有する現金 ^(注4)	△1,078
レベル1負債性金融商品 ^(注4)	—
調整後純有利子負債 ^(注1)	△40,913
調整後EBITDA	13,199
調整後純有利子負債/調整後EBITDA倍率	3.1 x
連結財政状態計算書上の社債及び借入金の簿価	△48,438
エクイティクレジットの適用 ^(注2)	2,500
為替調整 ^(注3)	1,525
調整後有利子負債	△44,412

現金及び現金同等物の純増減

(億円)	2022年度	2023年度	対前年度	
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,772	7,163	△2,608	△26.7%
有形固定資産の取得による支出	△1,407	△1,754		
有形固定資産の売却による収入	10	86		
無形資産の取得による支出	△4,930	△3,053		
投資の取得による支出	△102	△68		
投資の売却、償還による収入	223	80		
事業売却による収入（処分した現金及び現金同等物控除後）	80	200		
短期借入金及びコマーシャルペーパーの純増加額	400	2,770		
長期借入れによる収入	750	1,000		
長期借入金の返済による支出	△752	△1,004		
社債の償還による支出	△2,815	△2,205		
社債に係る金利通貨スワップの決済による収入	—	601		
自己株式の取得による支出	△269	△23		
利息の支払額	△1,086	△1,004		
配当金の支払額	△2,794	△2,872		
その他	△470	△936		
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,391	△1,019	2,372	69.9%

(注1) 当頁における2023年度に係る情報は、2024年度第1四半期より適用された新たな定義に合わせて前年度に開示した情報を組み替えて表示しております。

純有利子負債および調整後純有利子負債の定義ならびに2024年度からの名称変更については、「国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください。

(注2) ハイブリッド（劣後）社債及びローンの元本総額5,000億円分については、S&Pグローバル・レーティング・ジャパン（格付機関）より認定された50%のエクイティクレジットを適用し、2,500億円を負債から控除しております。これらの金融負債は、レバレッジ評価において一定のエクイティクレジットが認められております。

(注3) 期中平均レートで換算される調整後EBITDA計算と整合させるため、期初から期中残存する外貨建て負債を期中平均レートをを用いて換算しております。また、報告期間中に計上した新規の外貨建て負債および償還した既存の外貨建て負債については当該日の対応するスポットレートをを用いて換算しております。

(注4) ワクチン運営および売上債権の売却プログラムに関係して当社が第三者に代わり一時的に保有する、即時的または一般的な業務用に使用できない現金、およびその他の金融資産に計上され公正価値ヒエラルキーのレベル1に区分される債券投資を調整しております。

2024年度第3四半期累計 当期利益から調整後EBITDAへの調整



(億円)	2023年度 第3四半期累計	2024年度 第3四半期累計	対前年同期	
			対前年同期	対前年同期
当期利益	1,472	2,112	640	43.5 %
法人所得税費用	△469	711		
減価償却費及び償却費	5,413	5,716		
純支払利息	820	878		
EBITDA	7,236	9,418	2,182	30.2 %
減損損失	1,343	382		
その他の営業収益・費用（減価償却費、償却費及びその他の非資金項目を除く）	1,164	1,352		
金融収益・費用（純支払利息を除く）	446	442		
持分法による投資損益	△27	32		
その他の費用 ^(注1)	505	518		
調整後EBITDA	10,666	12,144	1,478	13.9 %

(注1) 株式報酬にかかる非資金性の費用とその他の一過性の非資金性の費用の調整を含みます。

2024年度第3四半期累計 当期利益から調整後EBITDA (LTM) への調整

(億円)	2023年度 通期 (4-3月)	2023年度 第3四半期累計 (4-12月)	2024年度 第3四半期累計 (4-12月)	2024年度 第3四半期累計 LTM ^(注1) (1-12月)
当期利益	1,442	1,472	2,112	2,082
法人所得税費用	△914	△469	711	266
減価償却費及び償却費	7,280	5,413	5,716	7,584
純支払利息	1,082	820	878	1,140
EBITDA	8,890	7,236	9,418	11,073
減損損失	1,500	1,343	382	540
その他の営業収益・費用 (減価償却費、償却費及びその他の非資金項目を除く)	1,622	1,164	1,352	1,810
金融収益・費用 (純支払利息を除く)	595	446	442	591
持分法による投資損益	△65	△27	32	△5
その他の費用 ^(注2)	699	505	518	712
調整後EBITDA	13,241	10,666	12,144	14,720
売却した製品に係るEBITDA ^(注3)	△42			△10
調整後EBITDA (LTM)	13,199			14,710

(注1) 2024年12月までの過去12ヶ月 (LTM: Last Twelve Months) を示しており、2023年度通期から2023年度第3四半期累計を控除し、2024年度第3四半期累計を加算して算出しております。

(注2) 株式報酬にかかる非資金性の費用とその他の一過性の非資金性の費用の調整を含みます。

(注3) 調整後EBITDAのLTM算出にあたり、売却した製品に係るEBITDAを調整しております。

2024年度第3四半期累計 資本的支出、減価償却費及び償却費、減損損失

(億円)	2023年度 第3四半期累計	2024年度 第3四半期累計	対前年同期		2024年度今回公表予想 (2025年1月30日)
資本的支出 ^(注1)	4,164	2,551	△1,613	△38.7%	3,800 - 4,200
有形固定資産の増加額	1,309	1,520	211	16.1%	
無形資産の増加額	2,855	1,031	△1,824	△63.9%	
減価償却費及び償却費	5,413	5,716	304	5.6%	7,680
有形固定資産の減価償却費 ^(注2) (A)	1,298	1,307	9	0.7%	
無形資産の償却費 (B)	4,114	4,410	295	7.2%	
うち、製品に係る無形資産償却費 (C)	3,877	4,117	240	6.2%	5,500
うち、製品以外に係る無形資産償却費 (D)	238	293	55	23.4%	
減価償却費及び償却費 (製品に係る無形資産償却費を除く) (A)+(D)	1,536	1,600	64	4.2%	2,180
減損損失	1,343	382	△961	△71.5%	
うち、製品 ^(注3) に係る無形資産減損損失	1,193	285	△908	△76.1%	500
製品に係る無形資産償却費及び減損損失	5,070	4,402	△668	△13.2%	6,000

(注1) キャッシュベース

(注2) 投資不動産に係る減価償却費を含みます。

(注3) 仕掛研究開発品を含みます。

2024年度業績予想（詳細）



財務ベース	(億円)	前回公表予想		今回公表予想		増減理由
		(2024年10月31日)	(2025年1月30日)	対前回公表予想		
	売上収益	44,800	45,900	1,100	2.5%	VYVANSEを含むビジネスの勢いおよび為替によるプラス影響
	売上原価	△15,550	△15,850	△300	△1.9%	
	売上総利益	29,250	30,050	800	2.7%	売上収益の成長を反映、売上総利益率は在庫に積み上がった為替影響を認識するプロセスの導入によるマイナス影響を反映
	販売費及び一般管理費	△11,050	△11,150	△100	△0.9%	主に為替影響
	研究開発費	△7,700	△7,400	300	3.9%	為替によるマイナス影響を、TAK-611とTAK-609の治験後アクセスに係る費用（従来研究開発費として見込んでいた費用）をその他営業費用として計上、および効率化プログラムによる費用節減効果の増加により相殺
	製品に係る無形資産償却費	△5,410	△5,500	△90	△1.7%	主に為替影響
	製品 ^(注1) に係る無形資産減損損失	△500	△500	—	—	
	その他の営業収益	190	190	—	—	
	その他の営業費用	△2,130	△2,250	△120	△5.6%	TAK-611とTAK-609の治験後アクセスに係る費用を承認前在庫に係る費用の戻入増加が一部相殺
	営業利益	2,650	3,440	790	29.8%	
	金融収益及び費用（純額）	△1,680	△1,780	△100	△6.0%	武田テバ合併会社の株式譲渡の決定に関連する費用と為替影響による金融費用の増加
	税引前当期利益	930	1,620	690	74.2%	
	当期利益（親会社の所有者持分）	680	1,180	500	73.5%	税引前当期利益の増加分を反映、税率の前提に変更なし
	基本的EPS（円）	43	75	32	73.5%	
	Core売上収益 ^(注2)	44,800	45,900	1,100	2.5%	VYVANSEを含むビジネスの勢いおよび為替によるプラス影響
	Core営業利益 ^(注2)	10,500	11,500	1,000	9.5%	VYVANSEを含むビジネスの勢いおよび研究開発費の減少を、在庫に積み上がった為替影響を認識するプロセスの導入による影響が一部相殺
	Core EPS（円） ^(注2)	456	507	50	11.0%	
	調整後フリー・キャッシュ・フロー ^(注2)	4,000～5,000	5,500～6,500			Core営業利益の増加、武田テバ合併会社の株式譲渡に伴う収入の見込み、現金税率のプラス影響を反映。Elriterceptのライセンス契約に伴う2億米ドルの支払いが一部相殺
	資本的支出（キャッシュ・フロー・ベース）	△3,800～△4,200	△3,800～△4,200			
	有形固定資産の減価償却費及び無形資産償却費 （製品に係る無形資産償却費を除く）	△2,150	△2,180	△30	△1.4%	主に為替影響
	調整後EBITDAに対する現金税金の税率（事業売却を除く） ^(注2)	10%台半ば	10%台前半			
	米ドル/円	150	153	3	1.9%	
	ユーロ/円	165	165	—	—	

(注1) 仕掛研究開発品を含みます。

(注2) 国際会計基準に準拠しない財務指標の定義は「国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」を、調整表は「2024年度業績予想 財務ベース営業利益からCore営業利益への調整表」をご参照ください。

2024年度業績予想 財務ベース営業利益からCore営業利益への調整表

(億円)	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整			Core
		無形資産に係る償却費	無形資産に係る減損損失	その他の営業収益/営業費用、その他の調整	
売上収益	45,900				45,900
売上原価	△15,850				
売上総利益	30,050				
販売費及び一般管理費	△11,150				
研究開発費	△7,400				
製品に係る無形資産償却費	△5,500	5,500			—
製品 ^(注1) に係る無形資産減損損失	△500		500		—
その他の営業収益	190			△190	—
その他の営業費用	△2,250			2,250	—
営業利益	3,440	5,500	500	2,060	11,500

(注1) 仕掛研究開発品を含みます。

2024年度前提為替レートおよび通期予想に対する為替感応度



	平均レート (円)				為替円安影響 (2025年1月~2025年3月) (億円)				
	2023年度 第3四半期 実績 (4-12月)	2024年度 第3四半期 実績 (4-12月)	2024年度 通期前提 (4-3月)	2024年度 第4四半期前提 (1-3月)		売上収益 (国際会計基準)	営業利益 (国際会計基準)	当期利益 (国際会計基準)	Core営業利益 (国際会計基準に 非準拠)
米ドル	143	152	153	156	1%為替円安影響	34.3	△6.2	△6.3	3.8
					1円為替円安影響	22.1	△4.0	△4.0	2.5
ユーロ	155	165	165	166	1%為替円安影響	11.3	△9.4	△7.8	△7.2
					1円為替円安影響	6.8	△5.7	△4.7	△4.3
ロシアルーブル	1.6	1.6	1.6	1.4		0.4	0.1	0.1	0.2
中国元	20.0	21.1	21.2	21.5	1%為替円安影響	4.5	3.0	2.4	3.0
ブラジルリアル	28.9	27.9	27.2	25.4		1.4	0.9	0.7	0.9

Takeda Investor Relations: takeda.ir.contact@takeda.com



Better Health, Brighter Future

© 2025 Takeda Pharmaceutical Company Limited. All rights reserved.